

U 1 . 精神医学

<i>P.1.....</i>	<i>2005 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.12.....</i>	<i>2004 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.21.....</i>	<i>2003 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.28.....</i>	<i>2005 年</i>	<i>概説試験</i>
<i>P.32.....</i>	<i>2004 年</i>	<i>概説試験</i>

2005年度卒業試験（獲得）

平成17年10月27日実施

1.精神保健福祉法において2人以上の精神保健指定医の診察が必要なのはどれか。

A.任意入院 B.自由入院 C.措置入院 D.応急入院 E.医療保護入院

（解答）C（2004年卒試24番の類題） Aは患者本人の同意、Bは精神保健福祉法で規定されていません。Dは任意入院ができず、急速を要し、保護者の同意を得られない、精神保健指定医の診察など。Eは保護者の同意。

2.我が国の精神障害者の医療について正しいものはどれか。

(1)地域に受け入れ先があれば退院可能な入院患者が7万5千人もいるとされる。

(2)任意入院患者は半数に満たない。 (3)措置入院患者数は減少してきている。

(4)精神病床における平均在院日数は約180日である。

(5)入院患者の傷病別分類ではうつ病が最も多い。

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)

F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

（解答）D (1)○ (2)× (3)○ (4)○ (5)× 統合失調症が最多。

3.自殺について正しいのはどれか。

(1)現在、我が国の自殺による死亡者数は年間3万人を超えている。

(2)現在、過労による自殺は労働災害として認定されない。

(3)自殺の原因は経済的な理由によるものが多く、うつ病が関連していることは稀である。

(4)一旦未遂に終わった者が再び自殺を試みることは少ない。

(5)最近の自殺者は、50歳代の男性に多い。

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

（解答）D（2004年卒試29番の類題） (1)○ わが国の自殺死亡は、1998年に急増して年間死亡数31,755人と死亡統計始まって以来の高値を示し、以降の年次においても3万人を超える自殺死亡発生が継続している。(2)× 「精神障害によって、正常な認識、行為選択能力が著しく阻害され、又は自殺を思いとどまる精神的な抑制力が著しく阻害されている状態」に陥ったものと推定し、原則として業務起因性が認められる。(3)× (4)× (5)○

4.心理検査で投影法はどれか。

(1)Minnesota 多面人格検査 (2)矢田部・ギルフォード(YG)性格検査

(3)絵画—欲求不満(PF)スタディ (4)Rorschach テスト (5)Hamilton うつ病評価尺度

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

（解答）H（2003年卒試4番の類題） 人格検査は質問紙法、投影法の2つに分けられる。(1)× MMPI。質問紙法で、人格特性を多面的に把握する。26領域から550問を試験する。(2)× 質問紙法。質問数は120で所要時間は約20分、主に教育学の分野で用いられる。(3)○ 欲求不満を引き起こさせるような2人の人物が描かれている漫画風の絵カードを用いて、欲求不満に対する反応を分析して診断させる。(4)○ (5)× うつ病の評価尺度。人格検査ではない。

5.REM睡眠で見られるのはどれか。

A.筋トヌス低下 B.夢中遊行 C.夜尿 D.紡錘波 E.心拍数減少

（解答）A A○ REMは急速眼球運動rapid eye movementsの頭文字。身体が完全に休息する（骨格筋の緊張低下）一方で、脳はある程度活動している（非除波化）。金縛りです。B× 小児のnon-REM睡眠で見られる。C× D× non-REM睡眠の第II期で見られる。E×

6.病的な記銘障害はどれか。

- (1)最近もの忘れがひどく、財布を置いた場所が思い出せない 72 歳の女性。
 (2)最近 1 ヶ月の間に会合の約束を 2 度忘れた 55 歳の男性。
 (3)財布の置き場所を忘れ、盗まれたと騒いで家族に連れてこられた 74 歳の女性。
 (4)携帯電話の番号を 1 度では覚えられないと訴える 65 歳の男性。
 (5)5 分前に見せた鍵、時計、ペン、硬貨、タバコの品々のうち、ひとつしか思い出せない 68 歳の男性。
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) E 記銘は体験したことを脳に刻み込むこと。つまり記銘障害とは前向健忘と同義。

病的か否かは、あるエピソードが記憶から丸ごと欠落しているかどうか、で判断。

- (1)× 財布を置いたことは覚えている。良性健忘という。(2)○ 約束したことを忘れていいるのでは…
 (3)○ エピソードが丸ごと欠落し、物取られ妄想まで見られる。(4)× (5)× 改定長谷川式簡易痴呆スケールの質問の 1 つですが、これだけで病的とはいえないかと。

7.Korsakoff 症候群でみられるのはどれか。

- (1)妄想 (2)作話 (3)意識障害 (4)書字障害 (5)記銘力障害
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) G Korsakoff 症候群とは、チアミン (ビタミン B₁) 欠乏によって、前向健忘、逆向健忘、見当識障害、作話、自己の病態に関する洞察欠如の五徴を呈する疾患。(1)× (2)○ (3)× チアミン欠乏で、意識障害、眼球運動障害、失調性歩行の三徴を呈するのが Wernicke 脳症。(4)× (5)○

8.季節性うつ病について正しいのはどれか。

- (1)過眠がみられる。(2)食欲が低下する。(3)季節労働者に多い。
 (4)高照度光線療法が有効である。(5)北半球の緯度の高い地域では夏に発症しやすい。
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) C 季節性うつ病は冬季にうつ病相期を呈する。過眠、過食を呈し、光療法が有効。

- (1)○ (2)× 食欲は亢進 (3)× (4)○ (5)×

9.Alzheimer 病でみられるのはどれか。

- (1)人格障害 (2)着衣失行 (3)見当識障害 (4)Kernig 徴候 (5)感情失禁
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) E (1)× 人格変化 (無遠慮、頑固、自己中心性がひどい) はあるが、饒舌さ、感受性、人間の好き嫌いなど人格の芯に近い部分は変わらない。(2)○ 中期から見られる。(3)○ 初期から。(4)× (5)× 感情失禁 (情動失禁) とは、意志による感情の統制力の低下のために感情表現のコントロールが失われて激しい動揺を示すようになった状態。感情の興奮性自体は亢進していない。ささいな精神的刺激で容易に泣き出したり、激昂したり、笑ったりする。後になると自分の感情反応が過度であったことを自覚できるものである。間脳付近の病変によって起こり、脳動脈硬化症に特徴であるとされる。

10.認知症(痴呆)が最も急速に進行するのはどれか。

- A.Pick 病 B.Parkinson 病 C.脳血管性認知症 D.Alzheimer 病 E.Creutzfeldt-Jakob 病

(解答) E? A 人格変化、欲動的脱制止が主。 B 緩徐に進行。 Alzheimer 病と類似。 C 発症は急だが、階段状に増悪。 D 緩徐に進行。 E 急速に進行。数ヶ月以内に無言・無動状態に陥り、発症から平均 1 年半で死亡。

11. アルコール依存症の診断に有用なのはどれか。

- (1) 飲酒による人間関係のトラブルを繰り返す。 (2) 飲酒すると楽天的になる。
 (3) 二日酔いにより仕事を休んだことがある。 (4) 飲酒時の出来事を思い出せない。
 (5) 連続飲酒と泥酔・入眠のサイクルを数日間繰り返す。

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) D アルコール依存症の診断は、薬物探索行動や離脱症状で容易に可能だが、問診が最も精度が高いスクリーニング検査であり、CAGE 質問票が汎用されている。即ち、C(Cut down)飲酒を減らすべきと感じたことがあるか、A(Annoyed by criticism)自分の飲酒について批判を受け、煩わしいと思ったことがあるか、G(Guilty about drinking)自分の飲酒を罪深いと感じたことがあるか、E(Eye-opener drinks)朝起きてまず飲酒し、落ち着かせようとしたり二日酔いを紛らわそうとしたことがあるか。

(1)○ (2)× (3)× (4)× (5)○

12. 次の組合せのうち正しいのはどれか。

- (1) 強迫性障害－反復行為 (2) 統合失調症－思考途絶 (3) うつ病－入眠困難
 (4) Ganser 症候群－失語症 (5) パニック障害－広場恐怖

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)
 F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) H (1)× 強迫性障害－強迫行為 (2)○ (3)○ 途中覚醒、早朝覚醒もある。 (4)× Ganser (ガンザー) 症候群とは拘禁状態で生じる解離性障害で、的外れ応答、小児症のため痴呆に見える。(偽痴呆) (5)○ パニック発作を繰り返す→予期不安→広場恐怖

13. 正しいのはどれか。

- (1) 各睡眠相は通常 90 分周期でくり返す。 (2) REM 睡眠の脳波は θ 波が主体である。
 (3) 12 歳児の脳波では θ 波が出現することはない。
 (4) 夢中遊行症は男子よりも女子に多い。 (5) 夜驚症は徐波睡眠段階に起こる。

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) D (2004 年卒試 35 番の類題) (1)○ (2)× REM 睡眠：低振幅の不規則な速波
 Non-REM 睡眠第 1 期： α (alpha)波消失・低振幅徐波(主に θ (theta)波)
 Non-REM 睡眠第 2 期：紡錘波出現
 Non-REM 睡眠第 3 期：高振幅の δ (delta)波が 20~50%出現
 Non-REM 睡眠第 4 期：高振幅の δ (delta)波が 75%以上出現

(3)× 生下時には δ 波のような徐波を示すが、4~5 歳で α 波がみられるようになり、10~12 歳でほぼ成人の脳波に近づく。 (4)× (5)○ 夜驚(やきょう)症とは、小児期に見られるかん高い叫び声や泣き声をもって、徐波睡眠から突然覚醒する病態。

14. 薬物依存について誤っているものはどれか。

- (1) 法律上、麻薬にはコカインや LSD などの薬物は含まれない。
 (2) 依存はベンゾジアゼピン系化合物では生じない。 (3) 覚醒剤依存では次第に使用量が増える。
 (4) 市販の鎮咳薬や解熱鎮痛剤でも薬物依存が生じる。
 (5) 依存の形成には脳内のドーパミン神経系が関与する。

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) A (2004 年卒試 37 番の類題) (1)× コカイン、LSD は麻薬取締法の対象である。 (2)× 常用量依存がみられ、中止後に反跳性不眠と不安を呈する。 (3)○ (4)○ 鎮咳薬にコデインがあり、アヘン類の一つである。 (5)○

15.慢性 C 型肝炎に対するインターフェロン療法の副作用で最も注意すべきなのはどれか。

A.パニック発作 B.うつ状態 C.躁状態 D.認知症(痴呆) E.幻覚妄想状態

(解答) B 重大な副作用として、間質性肺炎、ショック、重篤なうつ、急性腎不全、白血球減少・血小板減少・汎血球減少、自己免疫現象、心不全、糖尿病など。

16.神経性大食症にみられる症状はどれか。

(1)過活動 (2)妄想 (3)脱毛 (4)嘔吐 (5)強迫症状

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) J (2004 年卒試 41 番と同じ) (1)□ 神経性大食症の診断基準 B.体重の増加をふせぐために不適切な代償行動 (自己誘発性嘔吐。下剤、利尿剤、浣腸、その他の薬剤の誤った使用。絶食。過剰な運動)を繰り返す。(2)× (3)× (4)○ (5)○ 神経性大食症で出現する精神症状として、やせ願望、強迫、ヒステリー性格、抑うつ、孤立などがある。

17.Alzheimer 病において SPECT 検査で早期より異常を示す部位はどれか。

(1)前頭葉 (2)頭頂葉 (3)側頭葉 (4)後頭葉 (5)大脳基底核

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) E (2003 年卒試 21 番と同じ) 頭頂葉・側頭葉

18.正しいのはどれか。

A.Alzheimer 病は 60 歳以前には発症しない。 B.Pick 病の初期症状は、物忘れが多い。

C.Parkinson 病が認知症を合併することはない。 D.進行麻痺の病原体は prion である。

E.Leby 小体型認知症の患者は抗精神病薬に過敏である。

(解答) E A× B× 人格変化が初期症状。 C× D× 進行麻痺は梅毒の起炎菌スピロヘータ・トレポネーマでおこる脳炎 (第 4 期梅毒) E○

19.注意欠陥/多動性障害について正しいのはどれか。

(1)多動、衝動や不注意が主な症状である。(2)メチルフェニデートを治療薬として使用する場合がある。

(3)症状は家庭ではみられるが、学校では出現しない。

(4)知能が同年齢の子どもにくらべて遅れている。(5)症状のいくつかは 7 歳以下であられる。

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)

F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) C (1)○ (2)○ (3)× 学校でもみられる。(4)□ 知的能力に関しては、多くは境界線 (IQ70)以上の知能指数を示す。しかし、全般的な知的能力に大きな遅れがなくとも、認知能力のアンバランスさを認めるものが多い。そのため、学童期になるといわゆる学習障害の状態像を示すことも少なくない。(5)○ 注意力障害・多動・衝動性という中心症状は、成長とともに自然に改善する傾向がある。大きく動き回る多動性は 8~10 歳までに落ち着いてしまうことが多い。

20.次の組合せのうち正しいのはどれか。

(1)イミプラミン-モノアミン再取込みの阻害 (2)ハロペリドール-D₂受容体の遮断

(3)ジアゼパム-モノアミン代謝回転の促進 (4)リチウム-モノアミン酸化酵素活性の阻害

(5)フェニトイン-選択的セロトニン再取込みの阻害

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) A (2004年卒試 45番の類題) (1)○ イミプラミン:三環系抗うつ薬で、主にシナプス前部のセロトニン、ノルアドレナリンの再吸収を阻害する。(2)○ ハロペリドール:抗精神病薬 (3)× ジアゼパム:抗てんかん薬。ベンゾジアゼピン誘導体で、ベンゾジアゼピン受容体に結合し、GABAの感受性を強める。(4)× リチウム(炭酸リチウム):気分安定薬(抗躁病薬) 詳しい作用機序は不明。(5)× フェニトイン:抗てんかん薬。Na⁺チャンネルを遮断する。

21.ベンゾジアゼピン系薬の臨床的薬理作用でないものはどれか。

A.抗不安作用 B.抗幻覚妄想作用 C.抗けいれん作用 D.催眠作用 E.筋弛緩作用

(解答) B 抗不安薬、睡眠薬として用いられる。

22.5歳の男児。友達と遊ばないことに気付いた両親に連れられて来院した。出生時、特に問題はなかった。しかし言語の発達の遅れがみられ、現在ある程度の言葉の理解はできるが、会話は成立しない。視線を合わせようとしめない。特定のテレビ番組には興味を示すが、その他のことには全く無関心である。手足をばたばたさせたり体をぐるぐる回したりするのを好む。この患児でみられるのはどれか。

(1)知能障害 (2)人見知り (3)協調運動の障害 (4)常同行為 (5)対人的相互性の障害

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)

F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) F? 自閉性障害(小児自閉症)の症例。自閉性障害は3歳までに発症し、以下の3項目を充たす。

- ・対人関係を築けない...抱かれることを喜ばない、視線を避ける、人見知りが無い。
- ・言葉をコミュニケーションの手段として用いない...反響言語、代名詞反転、会話に発展しない。
- ・興味は限定され、いつも決まりきったワンパターンの活動...儀式的な振る舞い、奇妙な運動を反復。

(1)○? 自閉症の患児は、良好な知能発達を示すケースから重度の精神遅滞を示すケースまで様々。約70%がIQ70未満の精神遅滞を示し、残り30%が正常な知能発達を遂げる。この症例では、言語の発達の遅れがあることから知能障害が認められる? (2)× (3)×? 患児は不器用で、「ボタンがはめられない、ファスナーが閉められない」などの症状を呈するが、物の握持や歩行などの粗大運動はそれほど障害されない。(4)○ (5)○

23.25歳女性。動悸、頭痛、立ちくらみを主訴に来院した。7歳時両親が離婚し養女に出され、いじめられた。中学1年のとき家出をし、以後学校にはほとんど行かなかった。15歳で同棲、19歳で結婚し2児をもうけた。定職にはつかず、アルバイトを転々とした。夫の浮気が発覚し3年前に離婚。そのころより酒を飲むようになり体重が10kg減少した。その後今の夫と再婚、1児をもうけた。3ヶ月前、夫に借金があることがわかり、そのころより落ち込んでふさぎこむと寝てばかりで仕事も辞めてしまう。最近酒量も増え、いらだちが激しく子どもに八つ当たりしてしまう。この患者に認められないのはどれか。

A.うつ状態 B.適応障害 C.統合失調症 D.身体表現性障害 E.アルコール依存症

(解答) C A○ 「夫に借金があることがわかり、そのころより落ち込んでふさぎこむと寝てばかりで、仕事も辞めてしまう。」 B○ 「定職にはつかず、アルバイトを転々とした」 C× D○ 「夫の浮気が発覚し3年前に離婚。そのころより酒を飲むようになり体重が10kg減少した。」 E○ 「最近酒量も増え、いらだちが激しく子どもに八つ当たりしてしまう。」

24.67歳の男性。夜に大声を上げながら部屋を歩き回ることを主訴に来院した。半年程前からほぼ毎晩、就寝後1時間ほどで、叫び声を上げながら部屋を歩き回るようになった。家人が制止すると我に振り返りにつくが、またしばらくすると騒ぎ出す。日中騒ぐことはない。身長166cm、体重56kg。静止時振戦が軽度あるが、日常生活に支障を来すほどではない。改訂長谷川式簡易知的機能評価スケール24/30点。血液検査、生化学検査、脳単純MRI、脳波に異常なし。夜間に起こる症状として最も考えられるのはどれか。

A.睡眠時無呼吸 B.REM睡眠行動障害 C.側頭葉てんかん D.夜間せん妄 E.振戦せん妄

(解答) B A× B○ REM睡眠時に出現する異常行動。何らかの理由で、REM睡眠時の骨格筋の弛緩が不十分であるため、夢の中でとるべき行動が現実化してしまう。高齢者、特に男性に多く、せん妄と紛らわしい病態を呈するが、容易に覚醒させることができる点が異なる。 C× 好発は5～10歳くらいで、しばしばてんかんの家族歴を持つ。 D× せん妄は短期間に発症し、軽い意識混濁、強い意識狭窄で環境認識が困難になった状態。見当識障害、即時および近時記憶障害、幻覚などの症状が現れ、これらは1日のうちでも波があり、特に夕方から夜間前半にかけて増悪する傾向がある。(夜間せん妄) E× アルコール依存症における後期離脱症状。最終飲酒後2～3日で生じ、4～5日目にピークを迎えるもので、アルコール離脱せん妄とも呼ばれる。

25.10 歳の男児。奇妙な癖のため勉強ができないことを主訴として母親に連れられて来院した。出生時は異常は認められなかった。5歳時、マリンバ演奏時に肩をあげる癖で気付かれた。その後、まばたきをする、頭を振り回す、鼻をつり上げる、咳をする、体を震わせる、ハッハッ、ウッウッと声を出す、「死ね、死ね」と言うなどの多彩な症状が出現するようになった。この患児について正しいのはどれか。
 A.強迫的な母親の養育態度に原因がある。 B.幻覚妄想を伴うことが多い。
 C.てんかん性の脳波異常が高率にみられる。
 D.10歳代後半になるにつれて症状が軽快する。 E.抗うつ薬が有効なことが多い。

(解答) C トレット障害の症例。多彩な運動性チックと1つまたは複数の音声チックが1日中頻繁に生じ、1年以上持続する病態。(チックとは、意思に反して突発的に生じる急速な運動や発声のこと)これらは同時に出現するとは限らず、小児期の初期に運動性チックで始まり、数年遅れて音声チックが加わるパターンが多い。経過とともに音声チックはしばしば汚言を伴うようになる。本症の原因は不明だが、大半に非特異的な脳波異常が見出されることから、何らかの器質的な異常が示唆される。家族内集積傾向あり。治療にはハロペリドール(=抗精神病薬)が用いられる。大半が寛解するが、成年になっても服薬中止によって再発することが多く、その経過は極めて難治性である。 A× B× C○ D× E×

26.19歳の男性。奇妙な言動がみられるため、両親に伴われて来院した。3ヶ月前から「皆が自分の悪口を言っている」「ご飯に毒が入っている」などと訴え、大学は休んでいる。精神保健指定医が診察を行い、統合失調症の疑いで入院の必要があると判断したが、「自分は病気ではない」と強く入院を拒否している。両親は入院を希望している。正しいものどれか。
 A.警察に通報し措置入院させる。 B.両親の同意により医療保護入院させる。
 C.両親の同意により任意入院させる。 D.精神保健福祉センターに通報し応急入院させる。
 E.医療保護入院させて入院の告知をしないでおく。

(解答) B 患者の同意が得られない場合、保護者の同意が得られるのであれば、医療保護入院が最適と考えられる。

27.22歳の女性。幻聴と被害・関係妄想を伴う興奮状態となり、両親に連れられて夜間の精神科救急外来を受診した。対応した医師(精神保健指定医でない)として適切な対応はどれか。
 A.脳波を測定し意識レベルを判定する。 B.精神保健福祉センターへ通報する。
 C.両親の同意を得て入院させる。 D.直ちに隔離室(保護室)へ入れ行動制限を行う。
 E.精神保健指定医に診察を依頼する。

(解答) E?

28.52 歳の男性。全身倦怠感と気分の不快を主訴として、妻に伴われて来院した。部長に昇進した直後から疲労感が強く、夜眠れず、食欲も低下した。仕事に集中できず、続けてやっつけける自信がない。責任の重さが負担となり、将来を悲観している。特に朝は気分がすぐれず、夜は気持ちが比較的楽になる。強い自責の念が認められる。正しいのはどれか。

- (1)病気であることを伝え、休養に入らせる。 (2)脳の画像診断を直ちに行う必要がある。
 (3)電気けいれん療法が第一選択である。 (4)自殺の危険に対して配慮する。 (5)頑張るよう励ます。
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) C うつ病の症例。(1)○ うつ病に罹患していることおよびその治療には休養がいかに必要かを十分に説明し、十分な休養をとらせることが必要。その際、重大事項の決定は延期させること。(2)× (3)× 休養が第一 (4)○ 自殺をしないと約束させること。(5)× うつ病患者を励ますのは禁忌。患者の苦痛は「頑張りたいけど頑張ることができない」点にある。微小妄想に拍車がかかり、自殺に追い込む危険性がある。また、温泉、カラオケなどの気晴らしも不要。周囲の喧噪によって微小妄想が強まるだけ。

次の文を読み、設問に答えよ。

46 歳の男性。仕事の能率が悪く、叱責しても無頓着なため家族に連れられて来院した。現病歴=1 年半前の脳外科手術後、1 年間の療養生活を経て家業の小売店での軽作業に復帰した。しかし、以前より動作が緩慢で同じことを何度も繰り返すため、日常の動作にも非常に時間がかかる。それを注意しても無頓着で一向に改まらない。一日中自宅で何をすることもなく無為に過ごすことも多いという。食欲と睡眠は良好である。

既往歴:1 年半前、早朝突然意識を失って倒れた。前交通動脈瘤破裂によるクモ膜下出血と診断され、クリッピング手術が施行された。術後 1 ヶ月で呼びかけに反応するようになり、半年後には小説を読んだり、自立歩行が可能となったため退院した。術後から抗てんかん薬を服用しており、けいれん発作は起こっていない。

現症:面接時、身なりは整っており、表情は穏やかである。日常動作は間違いなく行うことができ、会話にも問題を感じさせない。

29.この患者にみられる症状はどれか。

- (1)発動性低下 (2)抑うつ状態 (3)常同行為 (4)抑制欠如 (5)高等感情欠如
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) B 前頭葉症候群の症例。前頭葉連合野の遂行機能障害により、発動性の低下と人格変化が見られる。(1)○ 「一日中自宅で何をすることもなく無為に過ごすことも多いという。」(2)× (3)○ 「動作が緩慢で同じことを何度も繰り返すため、日常の動作にも非常に時間がかかる。」(4)× (5)×

30.この患者の病変部位はどこか。

- A.視床 B.前頭葉 C.頭頂葉 D.側頭葉 E.後頭葉

(解答) B

31.この患者について誤っているものはどれか。

- (1)診断のために頭部 MRI を撮影する。 (2)高次脳機能障害である。
 (3)精神障害者福祉手帳の申請を行う。 (4)抗うつ薬投与の効果は乏しい。 (5)精神科病院に入院させる。
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) J (1)○ (2)○ (3)○ 診断書があれば、精神障害者福祉手帳の申請が可能です。(4)× 抗うつ薬で、意欲亢進・気分改善などが見込めるかと。(5)×

32.42 歳の男性。競馬の騎手。20 年来の大酒家。3 日前、落馬により下腿骨骨折で緊急手術を受けた。術後、不眠を訴えていたが、本日になって深夜急に起き上がり点滴を自己抜去しようとする。看護師が制止すると「助けてくれ」と言って振り払おうとする。発汗著明であり、自分の状態がわかっていないようで、視線も定まっていない。適切な対応はどれか。

- (1)警察への通報 (2)静かで暗い部屋に移す
(3)ビタミン B 投与 (4)塩酸モルヒネ投与 (5)ジアゼパム投与

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) I アルコール離脱せん妄(振戦せん妄)の症例。治療はジアゼパムを用いた置換漸減法を行う。また、Wernicke脳症の予防にチアミン(ビタミンB₁)を含む総合ビタミン剤の点滴も不可欠。

33.23 歳の女性。熟睡できないことを主訴に来院した。2ヶ月前、運転していた自動車が対向車と正面衝突し、同乗していた友人が目の前で死亡した。その後、後頭部を強打したが精密検査で異常はなく、その後の日常生活にも支障はなかった。1ヶ月前から、夢の中に事故の瞬間の情景が毎日のように再現され、恐怖感で目が覚めるようになった。最近は苦しくて気分が落ち込み、ささいな物音にびくつき、怒りっぽく、引きこもりがちな生活を送っている。この患者にみられるのはどれか。

- (1)強迫症状 (2)フラッシュバック (3)過覚醒 (4)幻覚妄想 (5)転換ヒステリー

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) E PTSD(外傷後ストレス障害)の症例。本症は、心的外傷後 1.5~6ヶ月を経て発症し、外傷体験が侵襲的にフラッシュバックし、悪夢にうなされる。過覚醒、不安、抑うつ、社会的引きこもりなどの症状が現れ、外傷体験を想起させる場面を頑なに回避する。(1)× (2)○ (3)○ (4)× (5)×

次の文章を読んで、下記の設問に答よ。

38 歳の女性。6ヶ月前から誘因がないにもかかわらず、発作的に呼吸が苦しくなり、動悸がして「このままでは死ぬのではないか」という恐怖感におそわれるようになった。その都度、救急車で病院に搬送されることが頻繁となった。「また発作が起こるのではないかと不安で、ひとりで外出もできない」と訴えて来院した。診察時の態度は緊張はしているが、おおむね自然であり、話の内容もまとまっている。発作時の記憶もよく保たれている。身体所見に異常を認めない。

34.この疾患の発作時にみられる症状はどれか。

- (1)広場恐怖 (2)社会恐怖 (3)発狂の恐怖 (4)死の恐怖 (5)不潔恐怖

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) J (2004 年卒試 1 番と同じ)

35.この疾患の治療に有効なのはどれか。

- (1)認知行動療法 (2)抗不安薬 (3)選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (4)抗精神病薬 (5)精神分析療法

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)

F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) A (2004 年卒試 2 番と同じ)

36.この疾患について正しい文章はどれか。

- (1)1980 年の DSM-III 発表以前は、不安神経症と呼ばれていた疾患の一亜型である。
(2)うつ病を合併することは稀である。 (3)薬物療法で一旦治癒すると再発することは少ない。
(4)全般性不安障害とともに強い不安によって特徴付けられる。
(5)救急医療では最も遭遇する機会の多い精神障害である。

A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)

F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) F (2004 年卒試 3 番と同じ)

次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。27歳の男性、物事を何度も確認しないと安心できないと訴えて来院した。高校時代に字を書いても計算しても間違いの有無を調べ続けた。その後対象は拡大して鍵やガス栓の確認を何度もするようになった。そのため、何をするにも時間がかかり、本人も疲れ、職場も毎日遅刻するようになった。治療を強く希望している。

37.この疾患で正しいのはどれか。

- (1)患者は自分の行動を非合理的と感じている。 (2)不潔恐怖と同じく恐怖症性障害に属する。
 (3)確認を止めようと気にするよりも、このまま続けたほうが良い。
 (4)うつ病に合併することは稀である。 (5)もともと性格的に完全主義の傾向が認められることが多い。
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) D (2004年卒試6番と同じ)

38.適切でない治療はどれか。

- A.行動療法 B.認知療法 C.森田療法 D.抗うつ薬投与 E.電気けいれん療法

(解答) E (2004年卒試7番と同じ)

次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

56歳の男性、頑固な不眠と日中の眠気を主訴に、妻に伴われて受診した。2年前から熟眠感が失われたと訴え、日中に疲労を感じよく居眠りするようになった。職場でも仕事の能率低下に気付かれている。妻によると、2年前から睡眠中のいびきがひどく、時々呼吸が止まった状態になるという。身長160cm、体重90kg、咽頭に異常を認めない。抑うつ気分、不安はない。

39.この疾患の診断に最も有用な検査はどれか。

- A.ポジトロンエミッショントモグラフィ(PET) B.覚醒脳波検査
 C.内田-クレペリン作業能力検査 D.ポリソムノグラフィ E.甲状腺機能検査

(解答) D (2004年卒試8番と同じ)

40.この疾患にまず行うべき治療法はどれか。

- A.イミプラミン投与 B.抗不安薬投与 C.メチルフェニデート投与
 D.経鼻的持続陽圧呼吸 E.軟口蓋の外科手術

(解答) D (2004年卒試9番と同じ)

41.22歳の男性、不眠を訴えて来院。就職したころから、夜寝つけず、明け方近くにやっと寝つき、昼過ぎに起きるようになった。そのため、遅刻や欠勤が続いている。母親には協力してもらい、朝起こしてもらいが眠気が強く、仕事に集中できない。職場では、意志が弱いとよく注意される。性格は真面目で努力家である。適切な対応はどれか。

- (1)上司による厳しい指導 (2)抗うつ薬 (3)ハロペリドール (4)睡眠導入薬 (5)高照度光療法
 A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) J (2004年卒試15番と同じ)

42.35歳の女性。昼間の眠気を訴えて来院した。4年前に次女を出産してから夜間の不眠と昼間の眠気を自覚するようになった。1年前から症状が増悪し、会話中でも眠ってしまうことがたびたび出現するようになった。また、驚いたときなどに突然倒れ込んでしまうこともあった。夜は悪夢が多く、「寝入りばなに黒い猫が出てきたりして、怖くて眠れない」と訴える。この疾患でみられるのはどれか。

- (1)精神運動発作 (2)睡眠中の著明な血圧変動 (3)睡眠麻痺 (4)情動脱力発作 (5)入眠時幻覚
 A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)
 F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) J (2004 年卒試 18 番と同じ)

43. 32 歳の男性、けいれん発作で来院した。23 歳時、幻覚、妄想、および興奮で精神科に 6 ヶ月入院し、以後抗精神病薬を飲み続けていた。2 ヶ月前より大量の水分を摂取している。診察時、けいれんはない。血清生化学所見: Na125mEq/L, K4.0mEq/L, Cl90mEq/L, 血清浸透圧 250mOsm/L(基準 275-288)、尿浸透圧 100mOsm/L(基準 50-1,300)この疾患について正しいものはどれか。

- (1) 水中毒である。 (2) 抗精神病薬の副作用のひとつである。 (3) 水を反復して飲む強迫症状である。
 (4) 進行しても意識障害を起こすことはない。 (5) 抗利尿ホルモンの分泌異常を伴うことがある。
 A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)
 F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) C (2004 年卒試 20 番と同じ)

次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

2002 年、日本精神神経学会は「精神分裂病」という呼称を「統合失調症」に変更した。そもそも精神分裂病という呼称は、(?)が提唱したschizophreniaという病名を 1930 年代に直訳したものであるが、この疾患の理解や治療が当時と現在とでは大きく変わってきたことが変更された理由の一つである。また精神分裂病という呼称が、あたかも人格異常者のような誤ったイメージを与えるため、精神障害者に対する偏見の背景をなすものとして、長年、患者家族団体が反対してきたのであった。実際、統合失調症という呼称は患者家族団体の支持を得られたものである。

44.(?)内に適切な人名はどれか。

- A フロイト B ユング C クレップェリン D ブロイラー E シュナイダー

(解答) D ブロイラー

45. 統合失調症の原語である schizophrenia という病名の意味と最も関連する症状はどれか。

- A. 自閉 B. 感情の平板化 C. 観念連合の障害 D. 自我障害 E. 陽性症状

(解答) C 原語の「schizo 分裂」は、「太陽--暑い」などの言語連想が分裂したという意味であり、schizophrenia (スキゾフレニア) は「連想の分裂を特徴とする精神病」という意味である。選択肢の症状はどれも統合失調症に認めらるが、思考過程の異常(思考減裂、連合弛緩、言葉のサラダ)を指す C が適当。

46. 下線部分を正しく説明する文章はどれか。

- (1) 統合失調症は慢性に進行する変性疾患であり、大部分の患者の予後は不良である。
 (2) 人格変化を来す疾患である。 (3) 高度な認知的機能の連合が障害される。
 (4) 地域社会における生活支援が重視される。
 (5) 統合失調症の患者(当事者)自身による社会的活動も盛んになりつつある。

- A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) H? (2004 年卒試 23 番の類題) (1)× 発症後 10 年の経過は概ね 4 等分される。1/4 は完全回復、1/4 はかなり改善(比較的自立)、1/4 はある程度改善(自立は困難)、1/4 はほとんど改善せず、欠陥状態、荒廃状態となる。また、30 年後の経過は 10 年後の状態よりも良好。(ある程度改善→かなり改善へ)
 (2)× (3)○ (4)×? (5)○? 薬物治療などにより、患者の 2/3 は社会復帰している。

47. 慢性期の統合失調症患者の社会復帰を促進するものはどれか

- (1) 成年後見人制度 (2) 福祉ホーム (3) 援護寮 (4) 授産施設 (5) ショートステイ
 A(1),(2),(3) B(1),(2),(4) C(1),(2),(5) D(1),(3),(4) E(1),(3),(5)
 F(1),(4),(5) G(2),(3),(4) H(2),(3),(5) I(2),(4),(5) J(3),(4),(5)

(解答) G (2004 年卒試 33 番の類題) (1)× 民法で定められている。被補助者には補助人がつけられ、当事者が申し立てた特定の行為には補助人の同意が必要である。同様に被保佐人には保佐人、成年被後見人には成年後見人がつけられる。成年後見人は成年被後見人の行為の全てを取り消すことができる。(2)○ 生活の場 (3)○ 生活訓練施設 (4)○ 就労訓練施設、作業所。(5)× 精神障害者の介護者が、疾病等の理由で家庭での介護が困難になった場合に、生活訓練施設に併設するショートステイ施設に一時的に入所できる制度。

48.心臓の冠動脈バイパス手術を受けた 58 歳の男性。術後 2 日目より集中治療室にて理由もなくおびえ、落ち着かず、騒ぎはじめた。適切な対応はどれか。

- (1)頭部 MRI 検査を行い脳塞栓の部位を調べる。(2)家族に認知症を発症した可能性が高いと告げる。
 (3)抗不安薬を投与して不安緊張の軽減に努める。
 (4)夜間の睡眠の確保に努める。(5)抗精神病薬を投与して鎮静する。

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) J (2004 年度卒試 49 番と同じ)

49.14 歳の女性。無月経を主訴に来院した。8 ヶ月前から自分は太っていると思うようになり、食事制限や過度の運動を行うようになった。初経は 12 歳。4 ヶ月前より月経は停止している。身長 151cm、体重 34kg。体温 35.8 度。脈拍 44/分、整。血圧 84/54mmHg。血液所見:赤血球:424 万、Hb:13.2g/dl、白血球:2600 血小板:21 万。血清生化学所見:総蛋白:5.9g/dl、アルブミン:3.7g/dl、総コレステロール:239mg/dl、AST:114 単位(基準 40 以下)、ALT:294 単位(基準 35 以下)。Na:142mEq/l、K:4.0mEq/l、Cl:106mEq/l、T4:4.0μg/dl(基準 5-12)。この疾患について正しいのはどれか。

- (1)下痢 (2)知能低下 (3)活動性亢進 (4)夜間高体温 (5)ボディーイメージの障害

A(1),(2) B(1),(3) C(1),(4) D(1),(5) E(2),(3) F(2),(4) G(2),(5) H(3),(4) I(3),(5) J(4),(5)

(解答) I 神経性食欲不振症の症例。若い女性に好発し、るいそう(脂肪組織や筋の減少により、標準体重の-10%以下に体重が減少した状態)で身体は衰え、無月経、低代謝状態。(乳房の萎縮や腋毛・恥毛の脱落はない)行動は活発で、やせていても太っていると思うボディーイメージ障害がある。(1)× (2)× (3)○ (4)× (5)○

50.65 歳の女性。もの忘れがひどいことを主訴に家族に伴われて来院した。自分の置いた財布の場所を忘れて、「どろぼうが家に入り、財布を盗んだ。」と言ったり、夕方になると、「ここは自分の家ではない。もう家に帰らなければ。」と言って家を出て行こうとする。家族によると最近はやがままで短気になったという。この患者で障害されていないのはどれか。

- A.性格 B.記憶 C.思考 D.知覚 E.見当識

(解答) D アルツハイマー病の症例。

2004年度卒業試験（復元）

<概要> 問題は全50問、1～3が1セット、4～23は2問ずつセット

問題冊子(解答書き込み)を一人一人に配り、持ち帰り阻止の姿勢あり。教授変わっても過去問だけでいけました。28 39 43 44 50 欠損。

以下の文を読み、問題1、2、3に答えなさい。

38歳の女性。6ヶ月前から誘引がないにもかかわらず、発作的に呼吸が苦しくなり、動悸がして「このまま死ぬのではないか」という恐怖におそわれるようになった。その都度、救急車で病院に搬送されることが頻繁となった。「また発作が起こるのではないかと不安で、ひとりで外出もできない」と訴えて来院した。診察時の態度は、緊張はしているが概ね自然であり、話の内容もまとまっている。発作中の記憶もよく保たれている。身体所見に異常を認めない。

1.この患者にみられるものはどれか。

- 1 広場恐怖 2 社会恐怖 3 発狂恐怖 4 死の恐怖 5 広場恐怖

a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

(答) d 発作が心配で外出できない事から広場恐怖がある。また死の恐怖も見られる。

この症例はパニック障害であると考えられる。

2.この疾患の治療に有効なのはどれか。

- 1 認知行動療法 2 ベンゾジアゼピン系抗不安薬 3 SSRI 4 抗精神病薬 5 精神分析療法

a(1,2,3) b(1,2,5) c(1,4,5) d(2,3,4) e(3,4,5)

(答) a 従来的には三環系抗うつ薬やベンゾジアゼピン系抗不安薬が用いられていたが、近年はSSRIが主役となっている（前二者と比べて副作用が少ない）。また、認知行動療法で最終的な治療を行う。

3.この疾患について正しいのはどれか。

- 1 1980年のDSM-3発表以前は不安神経症と呼ばれていた疾患の一亜型である。
2 うつ病を合併することはまれ。 3 薬物療法で一旦治癒すると再発することは少ない。
4 全般性不安障害とともにつよい不安によって特徴づけられる。
5 一般の救急医療では最も遭遇する機会の多い精神障害である。

a(1,2,3) b(1,2,5) c(1,4,5) d(2,3,4) e(3,4,5)

(答) c 2×慢性化するとうつ病を伴う患者は多い。

3×薬物療法はあくまでも症状を抑え込むだけ。薬物で症状を抑えた上で心理療法を行っていく。

以下の文を読み、問題4、5に答えなさい。

25歳の男性。多弁・多動を主訴に家族に伴われて来院した。元来人情味があり親しみやすい性格であったが、3週間前に仕事の失敗で上司に強く注意されたことをきっかけに責任を強く感じるようになった。それ以降「眠くならない。眠らなくても疲れない。」と言って夜遅くまで読書したり部屋の片付けをしたりする。その頃から会社の同僚に仕事に関係のない話を大声で話しかけたり、上司に注意されると不機嫌になり大声で言い返したり書類を破り捨てたりする。診察時、意識清明で気分は爽快である。会話をすると話は通じるが、時々脱線したり冗談を言ったり語呂合わせを言ったりする。また「自分は病気ではない。入院は断固拒否する。」と言っている。薬の内服はない。（症例は国試96D2と同じ）

4.この疾患で正しいのはどれか。

- 1 連合弛緩が認められる。 2 病識がないので、保護者の同意を得て医療保護入院とする。
3 誇大妄想が見られることがある。 4 抗うつ薬の服用により発症することは少ない。
5 病前性格は分裂気質である。

a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

(答) b 多弁・多動、易怒、睡眠障害から躁病を疑う。

- 1× 『会話をすると～語呂合わせを言ったりする』は観念奔逸。 2○ 精神保健医の診断も必要。
 3○ 気分障害の躁状態では観念奔逸・誇大妄想がみられる。
 5× 『元来人情味があり親しみやすい性格』は循環気質。

5.この疾患の治療に適切な薬物はどれか。

- a シアナマイド b イミプラミン c バルプロ酸 d リチウム e カルバマゼピン

(答) d(e)

a アルコール中毒治療薬, b 抗うつ薬, c 抗てんかん薬

まずは抗精神病薬(ハロペリドール・クロールプロマジン)による興奮の鎮静を図り、次に炭酸リチウムによる病態の治療を行う。リチウム抵抗例に対してカルバマゼピンを使う。

以下の文を読み、問題 6、7 について答えよ。27 歳男性、物事を何度も確認しないと安心できないと訴えて来院した。高校時代から字や計算の間違いの有無を何度も調べないと気がすまなかった。次第に対象が拡大し、鍵やガスの元栓を何度も確認する。何事にも時間がかかって疲れるようになり、会社にも遅刻するようになったので来院した。治療を強く希望している。

6.正しいものを選べ。

- 1 自分の行動を非合理的と感じている。 2 不潔恐怖症と同じ恐怖性障害に属する。
 3 確認行動をとめようとするよりも続けるほうがよい。
 4 うつ病の合併はまれである 5 完全主義の性格であることが多い。

a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

(答) e 確認強迫の症例。強迫性障害は意識内容を不合理と感じながらもそれから逃れられないものをいう。従って 1○,2×,で e が導ける。

7.適切な治療でないものはどれか。

- a 認知療法 b 行動療法 c 森田療法 d 抗うつ薬投与 e 電撃けいれん療法

(答) e 強迫性障害の治療は a～d が組み合わせられて進められる。

以下の文を読み、問題 8、9 について答えよ。56 歳男性。頑固な不眠と日中の眠気を主訴に妻に伴われて来院した。2 年前から熟眠感が失われ日中に疲労を感じよく居眠りするようになった。職場でも仕事の能率低下に気づかれている。妻によると 2 年前から睡眠中のいびきがひどく、時々呼吸が止まった状態になるという。身長 160cm、体重 90kg、咽頭に異常を認めない。抑うつ気分、不安はない。

8.この疾患の診断に最も有用な検査は何か。

- a 頭部 CT b 覚醒脳波検査 c 内田-クレペリンテスト d ポリソムノグラフィー e 甲状腺機能検査

(答) d 昼間の強い眠気・居眠り、激しいいびきと呼吸停止から睡眠時無呼吸症候群を疑う。本格的診断として終夜睡眠ポリグラフ(ポリグラフィー)が施行される。酸素飽和度の終夜測定も重症度の判定に有用。

9.行うべき治療法はどれか。

- a イミプラミン投与 b ベンゾジアゼピン系薬投与 c メチルフェニデート投与
 d 経鼻的持続陽圧呼吸 e 軟口蓋の外科手術

(答) d nasal CPAP が効果的治療として用いられる。外科的治療による上気道拡大、肥満を伴う患者であれば体重減少なども有効。

次の文を読み、問題 10,11 について答えなさい。8歳の男児。コミュニケーションがうまくとれないことを訴え、母親がつれて来院した。乳幼児期に運動発達は正常だが、おうむ返し（反響言語）が多く、友達がつくれず孤立している。特定の対象のみ、がんに興味を持ち、いつも同じ遊びを繰り返している。環境が少しでも変化すると、不安がって大騒ぎする。児童福祉施設での知能検査はIQ59。

10. この患者で認められるのはどれか。

- 1 人格障害 2 行為障害 3 広汎性発達障害 4 知的障害 5 多動性障害
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

(答)c 対人関係の質的障害、コミュニケーションの質的障害、活動・興味の限局性、軽度の知能障害がみられる。

11. この疾患について正しいものを選べ。

- 1 アスペルガー症候群に移行する。 2 早期より特別な療法を開始する必要がある。
3 軽度な知能障害がある。 4 高度な知能障害がある。 5 治療にはメチルフェニデートを投与する。
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

(答)b 1× アスペルガー症候群は言語発達に遅れのない広範性発達障害。

4× 高(重)度知能障害はIQ25以下。 5× 抗うつ薬で多動児に対して有効性があるという報告はある。

以下の文を読み、問題 12,13 について答えなさい。57歳の男性。3ヶ月前から食欲低下と不眠が出現した。同時に趣味であった囲碁を楽しめなくなり、仕事の能率も低下してきた。会社を欠勤するようになり、悲観的なことを言うようになったので家族に伴われ来院した。意識は清明。会話は遅く声も小さい。皆に迷惑をかけ申し訳ない、死んだ方がましだ、と訴える (93F-36)。

12. この症例について正しい組み合わせはどれか。

- 1 病前性格は執着気質である。 2 思考途絶がある。 3 病識は保たれる。
4 早期覚醒がみられる。 5 体重減少がみられる。
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

2003年40.と同じ症例。選択肢は違いました。

(答)c うつ病と考えられる。うつ病の病前性格は循環気質。うつ病のキーワードは悲観的、希死念慮、思考抑制、自責、不眠(早朝覚醒)、体重減少。

13. この疾患の治療について正しいのはどれか

- 1 誰にも迷惑をかけていないので、できる限り仕事を休まないように助言する。
2 希死念慮について問うとかえって刺激するので、直接は触れないほうがよい。
3 三環系抗うつ薬では吐気や食欲低下などの副作用が生じやすい。
4 選択的セロトニン再取り込み阻害薬は抗コリン系副作用が少ない。
5 幻覚や妄想を伴う症例では抗精神病薬を併用する。
a.(1,2) b.(2,3) c.(3,4) d.(4,5) e.(1,5)

(答)d 1× うつ病治療の基本は休養である。

3× 抗コリン作用は尿閉、便秘、口渇、かすみ目、発汗、鼻閉など。

4○ 各種受容体に対する親和性がないので。

以下の文を読み問題 14,15 について答えなさい。

22歳の男性。不眠を訴えて来院した。就職したところから夜寝付けず、明け方にやっと寝つき昼過ぎに起きようになった。そのため遅刻や欠勤が続いている。母親に協力してもらい、朝起こしてもらおうが眠気が強く、仕事に集中できない。職場では意志が弱いとよく注意される。性格は真面目で努力家である。

14. この疾患の診断は何か。

- a うつ病 b 睡眠覚醒リズム障害 c ナルコレプシー d 閉塞性睡眠時無呼吸症候群 e 精神生理性不眠症

(答) b

15.適切な対応はどれか。

- 1 上司に厳しく注意してもらう 2 抗うつ薬 3 ハロペリドール 4 睡眠導入薬 5 高照度光療法
a.(1,2) b.(2,3) c.(3,4) d.(4,5) e.(1,5)

(答) d 解説 国試 96-A-5 と同一

睡眠覚醒リズム障害であるので治療法としては睡眠相を変化させることが必要。

以下の文章を読み、問題 16,17 について答えよ。

19 歳の男性。大学入学時から両親のもとを離れ叔父宅に下宿していた。3ヶ月前から「皆が自分の悪口を言っている」「自分の考えが筒抜けになっている」などと訴え大学を休んでいた。最近 2 週間は夜になると徘徊し、時々興奮して部屋の物を壊すため叔父が強引に精神科医を受診させた。精神保健指定医は入院治療が必要と判断したが、患者は黙っている。 94E-1

16.次にとるべき行動は何か。

- a 両親とともに来院するよう伝える b 叔父の同意を得て医療保護入院するよう努める
c 患者の同意を得て任意入院するよう努める d 警察に通報して保護を願い出る
e 他害のおそれがあるので措置入院の手続きをする

(答) c 本人が同意するのであればそれが最も望ましいので。

17. この患者で予想される症状はどれか。

- 1 妄想知覚 2 強迫観念 3 貧困妄想 4 思考伝播 5 対話性幻聴
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

(答) c 症状、年齢から精神分裂病を疑う。幻覚妄想、幻聴、考想の吹入・奪取・干渉・伝播などが症状として現れる。

以下の文を読み、問題 18、19 について答えよ。35 歳の女性。昼間の眠気を訴え来院した。4 年前に次女を出産してから夜間の不眠と昼間の眠気とを自覚するようになった。1 年前から症状が増悪し、会話中でも眠ってしまうことがたびたび出現するようになった。また、驚いた時などに突然倒れ込んでしまうこともあった。夜は悪夢が多く、「寝入りばなに黒い猫が出てきたりして、怖くて眠れない」と訴える。

18.この患者で見られるのはどれか。

- 1 精神運動発作 2 睡眠中の著明な血圧変動 3 睡眠麻痺 4 情動脱力発作 5 入眠時幻覚
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

(答) e

「夜間の睡眠不良と昼間の眠気（睡眠発作による?）」、「会話中に突然眠り込んでしまう。（睡眠発作）」、「驚いたときに意識を失う。（脱力発作?）」、「夜間入眠時に黒い猫が現れて怖くて眠れない。（入眠時幻覚）」といった症状からナルコレプシーを疑う。ナルコレプシーの 4 徴候は(1)睡眠発作、(2)脱力発作、(3)入眠時幻覚、(4)睡眠麻痺の 4 つ。

- 1) × てんかん発作のひとつで通常痙攣は伴わず、意識障害とあたかも合目的に見えるような行動をとる発作で通常、発作時のことは想起できない。
3) ○ いわゆる金縛りのことで全身の骨格筋が麻痺して動けなくなる。ナルコレプシーの 4 徴候の 1 つ。
4) ○ 笑いや驚きなど情動刺激によって誘発される脱力発作。ナルコレプシーの 4 徴候の 1 つ。
5) ○ ナルコレプシーでは、脳波上、入眠期から突然 REM 睡眠期の脳波に移行することが観察される。

19.この疾患の治療薬として正しいものを選び。

- 1 抗てんかん薬 2 精神刺激薬 3 三環系抗うつ薬 4 持続気道陽圧法 5 高照度光照射
a.(1,2) b.(2,3) c.(3,4) d.(4,5) e.(1,5)

(答) b 精神刺激薬 (メチルフェニデート) と三環系抗うつ薬 (イミプラミン) の併用が基本。前者で覚醒機能を up させ、後方で REM 睡眠を抑制する。

以下の文章を読み、問題 20、21 について答えなさい。32 歳男性。痙攣発作で来院した。23 歳時に幻覚・妄想および興奮で精神科に 6 ヶ月入院し、以後抗精神病薬を飲みつづけていた。2 ヶ月前より大量の水分を摂取している。診察時、痙攣はない。血清生化学所見 Na125mEq/l、K90mEq/l、Cl 90mEq/l、血清浸透圧 250mOsm/l(基準 275~288)、尿浸透圧 100mOsm/l(基準 50~1300)

20.この疾患について正しいものを 3 つ選べ。

- 1 水中毒である。 2 抗精神病薬の副作用によると考えられる。
3 強迫性の症状がある。 4 不詳 5 抗利尿ホルモンの分泌異常がある。

(答) 1, 2, 5 抗精神病薬の長期投与によって視床下部の口渴中枢および ADH 分泌細胞のドーパミン受容体感受性が亢進し、口渴と ADH 促進が見られるとする仮説がある。抗精神病薬の抗コリン作用に起因する口渴も関与しているとみられる。その他、低 Na 血症による精神症状(譫妄・痙攣)も出現する。

21.もっとも大切な処置は何か。

- a 水分制限 b ブドウ糖輸液 c 高張圧食塩水輸液 d ジアゼパム静注 e フェニトイン静注

(答) a 薬物療法は確立されていない。

以下の文を読み、問題 22、23 について答えよ。2002 年、日本精神神経学会は、精神分裂病という呼称を統合失調症に改めることとした。そもそも、精神分裂病という呼称は、() が提唱した schizophrēnia という単語を 1930 年代に直訳したものであるが、【この疾患の理解が当時と現在とでは大きく異なっていることが、名称が変更された理由の一つである。】また、精神分裂病という呼称が、患者が人格障害者であるかのような、誤ったイメージを与えるため、精神障害者に対する偏見の背景になりうるということで、この呼称に対して患者家族団体が反対してきたのであった。実際、統合失調症という呼称は患者家族団体の理解を得られたものである。

22. () 内に入る人名を選べ。

- A.フロイト B.ユング C.クレペリン D.ブロイラー E.シュナイダー

23.上の文の【 】内を正しく説明するものはどれか

- 1 統合失調症は慢性の経過をたどる変性疾患で、大部分の患者の予後は不良である。
2 人格変化を来す 3 入院治療が主体である 4 高度な認知機能が障害される
5 1970 年代以降、欧米の先進国では精神科病床数は減少している

- a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

答 22. D. Kraepelin が早発痴呆と呼び、Bleuler が 1911 年に精神分裂病と名づけた。

23. d 1 × 10 年経過時に改善しないのは 4 分の 1 の症例のみ。ただし、自殺は多い。

2 × 3 × 薬物療法を用いて外来で治療することが多い。 4 ○ 5 ○

24 精神保健福祉法で本人の同意が必要なものを一つ選べ

- A 医療保護入院 B 措置入院 C 自由入院 D 同意入院 E 任意入院

答 E. A × 「保護」者の同意が必要。B × 患者が精神障害を持ち、自傷多害の恐れがあるときに、2 名以上の精神保健指定医の診察が必要。C.×D.×C と D は精神保健福祉法の規定する入院形式ではない。E.入院後は、精神病院管理者に 72 時間以内の退院制限を行う権限が与えられる。

25.入院治療が必要と判断される精神障害の患者が精神病院への入院を拒否している場合の正しい対応はどれか?

- 1)医師な裁量により入院させる。 2)家族の判断により入院させる。
3)精神保健指定医が診断する。 4)保健福祉センターに通報する。 5)警察に通報する。

答 いくつ選べば良いか不明。状況から医療保護入院が必要だと考えられる。1)× 精神保健指定医の診断は必要だが裁量だけで入院とはならない。2)×「保護者」の同意が必要。家族の判断で入院とはならない。3)○ 医療保護入院は精神障害者が任意入院を行わないとき、精神保健指定医が要入院と診断し保護者の同意が得られてはじめて行われる。 4)× 5)×

26.誤ったものを選べ。

- a)妄想知覚は一次妄想である。 b)統合失調症でみられる幻覚は幻視が多い。
c)うつ病の妄想は二次妄想である。 d)錯覚と幻覚をあわせて妄覚という。
e)機能的幻覚では現実の知覚に平行して幻覚がおこる。

答 b いくつ選べば良いか不明。a)○ 発生機序を心理学的背景から理解できない妄想を一次妄想という。主に統合失調症でみられ、妄想気分、妄想知覚、妄想着想に分類される。b)× 幻聴が多い。c)○ うつ病では特に微小妄想（自分を過小評価する）が見られる。 d)○ e)○

27.次の心理テストの中で投影法はどれか？

- a) 簡易精神症状評価尺度 b) Rorschach テスト c) 文章完成テスト
d) Minnesota 多面人格検査 e) Zungs うつ病事故評価尺度
1) a,b 2) b,c 3) c,d 4) d,a

答 2 国家試験的には「とうとうローソン分解」と覚えるらしい。
とうとう→投影法, ロー→Rorschach テスト, ソン→Szondi テスト, 分→文章完成テスト, 解→絵画テスト

29.自殺について正しいのはどれか

- (1) 現在、我が国の自殺による死亡者数は年間1万人前後である
(2) 現在、過労による自殺も労働災害として認定されるようになった
(3) 最近の自殺者は50歳代が最も多い (4) 一旦未遂に終わった者が再び自殺を試みることは少ない
(5) 自殺と関連するうつ病は男性に多い疾患である
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

答 b (1) × わが国の自殺死亡は、1998年に急増して年間死亡数31,755人と死亡統計始まって以来の高値を示し、以降の年次においても3万人を超える自殺死亡発生が継続している。(2) ○ 労災保険では、故意による災害には保険給付されない。一般的に自殺は故意による死亡だが、うつ病等気分〔感情〕障害、重度ストレス障害等ストレス関連障害などの精神障害では、その病態として自殺念慮が出現する蓋然性が高いと医学的に認められることから、業務による心理的負荷によってこれらの精神障害が発病したと認められた人が自殺を図った場合には、「精神障害によって、正常な認識、行為選択能力が著しく阻害され、又は自殺を思いとどまる精神的な抑制力が著しく阻害されている状態」に陥ったものと推定し、原則として業務起因性が認められる。(5) × 双極性うつ病の男女比1：1、非双極性うつ病1：2.

30.次の組合せのうち正しいのはどれか

- A.躁病-自生観念 B.強迫制障害-観念奔逸 C.うつ病-思考途絶
D.統合失調症-思考抑制 E.ピック病-保続

答 E. A × 自生観念-統合失調症の初期 B.× 観念奔逸-躁病 C.× 思考途絶-統合失調症 D.× 思考抑制のこと？-うつ病 E.○ 保続-脳の器質的障害(DSM-□ではせん妄、痴呆など)で見られる。

31.PTSDで見られるものを次の中から選べ。

- 1)悪夢を反復して見る 2)イライラして過敏になる 3)同じような状況を避けようとする
4)パニック発作を起こす 5)人前で話すことを極度に恐れる
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 a 1)○ その事件の苦痛的な夢を反復して見る。2)○ 易刺激性が生じる。3)○ 4)□ 症状としてはパニック発作を起こすこともあるが、DSM-4 の診断基準には含まれていない。5)× 社会恐怖の症状である。

32.疾患と症候の組み合わせで正しいものの組み合わせを選べ。

- 1.強迫神経症-----儀式行為 2.パニック障害----広場恐怖 3.Ganser 症候群----空想虚言
4.適応障害-----早朝覚醒 5.解離性障害-----遁走

a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 b 1.○ 2.○ 3.× 的はずれ応答と小児症をきたす。虚言ではない。4.× 早朝覚醒は躁病やうつ病で見られる。5.○

33.慢性精神分裂病患者の社会復帰に関する施設として適切なのはどれか

- 1) 成年後見人制度 2) 援護寮 3) 福祉ホーム 4) 授産施設 5) ホームヘルプ

a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 d. 2)○ 生活訓練施設。3)○ 生活の場を提供する。4)○ 就労訓練施設、作業所

34. 間違っているものを一つ選びなさい。

- a)覚醒は脳幹網様体と関係が深い。 b)意識障害では睡眠-覚醒レベルの障害がみられる。
c)情動は大脳辺縁系や前頭葉と関係が深い。 d)記憶は、記銘と保持という過程で構成される。
e)前頭葉はしばしばオーケストラの指揮者にたとえられる。

答 d a)○ b)○ c)情動は大脳辺縁系や前頭葉と関係が深い。d)× 記憶は記銘→保持→追想(再生)の3段階。e)?

35 正しい組み合わせを選べ

- 1)各睡眠相は通常 60 分周期である 2)REM 睡眠の脳では、 θ (シータ)波が主体である
3)REM 睡眠時に夢を見ることが多い 4)老人の不眠は中途覚醒が特徴的である
5)早朝に日光を浴びると不眠の原因になる

a.(1,2) b.(2,3) c.(3,4) d.(4,5) e.(1,5)

答 c. 1)×約 90 分周期 2)× REM 睡眠: 低振幅の不規則な速波

Non-REM 睡眠第 1 期: α (alpha)波消失・低振幅徐波(主に θ (theta)波)

Non-REM 睡眠第 2 期: 紡錘波出現

Non-REM 睡眠第 3 期: 高振幅の δ (delta)波が 20~50%出現

Non-REM 睡眠第 4 期: 高振幅の δ (delta)波が 75%以上出現 3)○ 4)○ 老年期は深い Non-REM 睡眠期が減少し、浅眠感と中途覚醒が起きやすい 5)×睡眠相後退症候群に高照度光療法を使うくらいだから、間違いだろう 関連する国試問題 94A-42 95A-38

36 正しいものはどれか。

- a)タバコは抑制系の精神作用物質である。 b)アルコールは身体依存性はない。
c)わが国では女性のアルコール依存者数は減少している。
d)血中アルコール濃度が 200mg/dl 以上では意識障害を生じる。
e)少量のアルコールでは病的酩酊は認めない。

答 d a)タバコはニコチン受容体を刺激し、興奮性の精神作用もある。b)× c)増加傾向にある。d)○ e)病的酩酊は比較的少量のアルコール(80-100mg)で生じる。

37.薬物依存について誤っているものを選び。

- a)法律上麻薬にはコカイン、LSD は含まれない b)シンナー中毒は幻覚剤依存の一種である
c)向精神薬依存は抗不安薬によることが多い d)市販の鎮咳薬や解熱鎮痛剤でも依存が生じる
e)覚醒剤依存では次第に使用量が増える

答 a. a) ×コカイン、LSD は麻薬取締法の対象である。 b) ○ c) ○ ベンゾジアゼピン誘導体による常用量依存が問題となる。精神依存はなく、身体依存である。d) ○ 鎮咳薬にコデインがあり、アヘン類の一つである。 e) ○ 興奮性であり、身体依存ではなく精神依存を形成する。また、耐性が形成される。精神科 39 は 2003 年 18 番と同じです

38. 次の組み合わせで正しいものを選び。

- A. Wernicke 脳症 — ビタミン B1 B. アルコール幻覚症 — せん妄
C. コルサコフ症候群 — 嫉妬せん妄 D. ペラグラ — 葉酸 E. 嫌酒薬 — カルバマゼピン

答 A A. ○ B. アルコール幻覚症では幻聴が中心で、意識清明で見当識障害も無い。C. 振戦せん妄、Wernicke 脳症から移行する。コルサコフ症候群は健忘、記名障害、失見当識、作話、自己の病態に関する洞察欠如を呈する。D.ペラグラはニコチン酸 (ナイアシン) 欠乏症 E. 抗酒薬療法に嫌酒薬 (アルデヒド脱水素酵素阻害薬 cyanamide) を使う。

40. 神経性食欲不振症について正しいものを選びなさい。

- (1) 期待される体重の 85%以下の体重が続く。 (2) うつ病を合併している。
(3) 体重が増えないことを苦にしている。 (4) 通常、無月経である。
(5) やせすぎていることを否定する。
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 c (2) × 行動はむしろ活発。(3) × むしろ体重が増えることを恐れている。

41 番 神経性大食症で正しいものの組み合わせを選び

- a.過活動 b.妄想 c.脱毛 d.嘔吐 e.強迫症状
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

答 d a.△ 神経性大食症の診断基準 B.体重の増加をふせぐために不適切な代償行動 (自己誘発性嘔吐。下剤、利尿剤、浣腸、その他の薬剤の誤った使用。絶食。過剰な運動) を繰り返す。b.× c.× d.○ e.○ 神経性大食症で出現する精神症状として、やせ願望、強迫、ヒステリー性格、抑うつ、孤立などがある。

42.正しい組み合わせのものを一つ選び。

- (1) 躁病—自生観念 (2) 強迫性障害—観念奔逸 (3) うつ病—思考途絶
(4) 統合失調症—思考抑制 (5) Pick 病—保続

答 (5) (1) × 自生観念—統合失調症の初期 (2) × 観念奔逸—躁病 (3) × 思考途絶—統合失調症 (4) × 思考制止のこと?—うつ病 (5) ○ 保続—脳の器質的障害 (DSM-IV ではせん妄、痴呆など) で見られる。

45.次の組み合わせのうち正しいものはどれか?

- (1)三環系抗うつ薬・・・モノアミン取り込み阻害 (2)抗精神病薬・・・ドーパミンD2 受容体遮断
(3)抗不安薬・・・ベンゾジアゼピン受容体結合 (4)気分安定化薬・・・ドーパミン前駆体物質
(5)抗てんかん薬・・・グルタミン酸受容体刺激
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 a. (1)三環系抗うつ薬は主にシナプス前部のセロトニン、ノルアドレナリンの再吸収を阻害する。(2)○(3)○(4)気分安定化薬は炭酸リチウムやカルバマゼピン。(5)× 抗てんかん薬：バルプロ酸=GABAの作用増強+Na⁺チャネル遮断。全般発作の第一選択薬。部分発作でも使う。ただし催奇形性(約10%)あり。カルバマゼピン=Na⁺チャネル遮断。部分発作の第一選択薬。欠神発作には無効。フェニトイン=Na⁺チャネル遮断。血中濃度が不安定で、中毒を起こし易い。エトスクシミド=Ca²⁺チャネルに関与。欠神発作のみ有効。ベンゾジアゼピン誘導体=GABAの感受性増強。フェノバルビタール=Cl⁻チャネル開口時間延長。

46. 依存性がないのはどれか

(1)抗不安薬 (2)抗うつ薬 (3)抗精神病薬 (4)ベンゾジアゼピン系睡眠薬 (5)バルビツール系睡眠薬
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

答 b (1) 抗不安薬にはベンゾジアゼピン誘導体や抗不安作用に特化したアザピロン誘導体がある。(4) 6ヶ月以上服薬すると常用量依存で、服薬中止後に反跳性不眠と不安を生じる。(5) 身体依存を形成し、痙攣発作、せん妄などの離脱症状を引き起こす。

47. 抗精神病薬により生じやすい副作用はどれか。

1. ジストニア 2. アカシジア 3. ジスキネジア 4. 低プロラクチン血症 5. 体重減少
a.(1,2,3) b.(1,2,5) c.(1,4,5) d.(2,3,4) e.(3,4,5)

答 a. 1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. × 高プロラクチン血症。 5. × 食欲増進、体重増加。

48. ベンゾジアゼピン系薬の臨床的薬理作用でないものはどれか。一つ選べ。

a) 抗不安作用 b) 抗幻覚妄想作用 c) 抗けいれん作用 d) 催眠作用 e) 筋弛緩作用

答 b (2003年度卒試の27と同じ問題です.)

49. 心臓の冠動脈バイパス術後の58歳男性。術後2日目より集中治療室にて理由もなくおびえ、落ち着かず、騒ぎ始めた。適切な対応はどれか？

1) 頭部MRIを行い、脳塞栓の部位を調べる。 2) 家族に痴呆症を発症した可能性が高いと告げる。
3) ベンゾジアゼピン系抗不安薬を投与して、不安緊張の軽減に努める。
4) 夜間の睡眠の確保に努める。 5) 抗精神病薬を投与して鎮静をはかる。
a(1,2) b(2,3) c(3,4) d(4,5) e(1,5)

答 d. 1) × 2) × 3) △ ICUせん妄なので、ハロペリドール(ブチルフェノン系の抗精神病薬)投与。また、睡眠障害を改善させることも必要。急を要する時はジアゼパム静注も行われるが、連続投与すればせん妄が悪化することもある。 4,5) ○

2003年度卒業試験（復元）

問題は全50問で、28～50番は38番をのぞいて2問ずつのセットでした。

1 精神障害者の入院に際して、保護者の同意が必要なのはどれか？

A 医療保護入院 B 措置入院 C 緊急措置入院 D 応急入院 E 任意入院

（解答）A 医療保護入院。精神障害者は自己の症状を適切に把握できない。この為、本人に代わって「保護者」の同意に基づき、強制的に入院させる必要がある。ここで法律上「保護者」とは、「後見人」「配偶者」「親権者」「扶養義務者のうちから家庭裁判所が選任した者」とされている。

× B 自傷・他害行為の危険の場合、知事の裁量にて強制的に入院させる事が出来る。2名以上の精神保健指定医の、診断の一致が必要。

× C 緊急の場合、精神保健指定医1名の診断にて入院させる事が可能。

× D 意識障害があり、直ちに入院させないと重大な影響が出る場合、精神病院の管理者（知事の指定）が強制的に入院させる事が出来る。期限は72時間。精神保健指定医の診察が必要。

× E 本人の同意に基づく入院形態。本人の書面での意思確認が必要。

2. 入院治療が必要と判断される精神障害の患者が精神病院への入院を拒否している。最も正しい対応はどれか？

A 医師の裁量権で入院させる B 家族の判断で入院させる C 精神保健指定医にまかせる
D 保健所にまかせる E 医療保護入院の形式で入院させる

（解答）C。精神科の入院制度についての問題。患者本人の同意が得られていないので「任意入院」はできない。精神保健法の規定によると精神保健指定医でなければ患者を強制的に入院させることはできないので、入院の必然性も含めて精神保健指定医の判断を仰ぐべきである。

× A 精神保健指定医でなければ強制的に入院させる措置は不可能。

× B ○C この選択肢の中では、最も適切と考えられる。

× D × E 問題文の条件だけでは医療保護入院となるかどうかははっきりしない。

3. 間違っているのはどれか？

- 1、妄想着想は一次妄想である 2、統合失調症の幻覚は、幻聴が主である
3、うつ病の妄想は一次妄想である 4、錯覚と幻覚をあわせて妄覚という
5、機能的幻覚では現実の知覚に並行して幻覚がおこる、

a (1, 2) b (2, 3) c (3, 4) d (4, 5) e (1, 5)

答え c? (3のみ誤り)

○1.一次（原発性）妄想には妄想気分、妄想知覚、妄想着想が有る。妄想着想は心理学的背景がないのに突然何かを思いつき、確信してしまう現象。

○ 2.幻聴が中心である。幻視のみの場合、統合失調症は否定的である。

× 3.うつ病の妄想は二次妄想（続発性）である。二次妄想は発生機序を心理学的背景から了解可能。

4 投影法はどれか

- 1) 簡易精神症状評価尺度 2) R o r s c h a c h テスト 3) 文章完成法
4) M i n e s o t a 多面人格検査 5) Z u n g s うつ病自己評価尺度

選択肢 a 1 2 b 1 5 c 2 3 d 3 4 e 4 5

（解答） c 2、3。

（解説）人格検査には質問紙法と投影法がある。投影法は自由な回答を引き出し、人格構造の深部を観察する事が可能である。

× 1.BPRS。18項目を1から7までの7段階で評価する。

○ 2.インクの染みで出来た10枚（5枚は色付き）の絵を見せ、何に見えるか連想させる。

- 3.不完全な文章（刺激文）を与え、完成させる。
- × 4.MMPI。人格特性を多面的に把握する。26領域から550問を試験する。 × 5

6 正しい組み合わせを選びなさい

1. 自殺による死亡者数は交通事故死より多い 2. 過労による自殺も労災と認められている
3. 自殺は20歳台に多い 4. 自殺は女性に多い 5. うつ病は男性に多い

a 12 b 15 c 23 d 34 e 45

(解答) a 1、2。自殺者は年間約3万人、交通事故死は年間約1万人。過労による自殺で労災が認定される事例が挙げられている。

- 1. 自殺による死亡の方が多い。 ○2. 正しい。 × 3. 中高年に多い。
- × 4. 自殺は女性よりも男性に多い。 × 5. うつ病は男性よりも女性に多い。

7、次の組み合わせのうち正しいのはどれか。

- A 躁病—観念奔逸 B 強迫性障害—保続 C うつ病—迂遠
D 統合失調症—思考抑制 E ピック病—思考途絶

(解答) A。保続、迂遠は脳の器質的障害、思考抑制は鬱病、思考途絶は統合失調症と関連が深い。

- A × B 強迫性障害—強迫観念、強迫行為 × C うつ病—思考抑制
- × D 統合失調症—思考途絶 × E ピック病—人格変化、欲動的脱制止

8. 次の組合せのうち、誤っているのは？

- A ヒステリー—転換 B 心気症—詐病 C 多重人格—解離 D パラノイア—妄想
E 二人組精神病(folie a deux)—感応

(解答) B。心気症は患者自身が症状を感じており、症状を自覚しないのに偽る詐病とは異なる。

- A ヒステリーは、解離性障害、転換性障害とも言われる。 × B ○ C
- D 妄想性障害の一つとされる。 ○ E 密接に生活している人間に症状が伝播する現象。

10. 57歳の男性。3ヶ月前から食欲低下と不眠とが出現した。同時に趣味であった囲碁を楽しめなくなり、仕事の効率も低下してきた。会社を欠勤するようになり、悲観的なことを言うようになったので、家族に伴われ来院した。意識は清明。会話は遅く声も小さい。「皆に迷惑をかけ申し訳ない。死んだ方がましだ」と訴える。この疾患と関連の深い気質・性格類型はどれか。

- (1)粘着気質 (2)循環気質 (3)メランコリー型性格 (4)執着気質 (5)依存性格
a (1)(2)(3) b (1)(2)(5) c (1)(4)(5) d (2)(3)(4) e (3)(4)(5)

(解答) d。症例はうつ病と考えられ、循環気質、メランコリー型気質、執着器質と関連。

- ×(1)粘着性は、てんかんの精神症状に関連。 ○(2)循環気質は、社会的な反面、寂しさを感じやすい。
- (3)几帳面で責任感が強い性格。 ○(4)律儀で責任感がある。粘着とは異なる。 × (5)

11. 慢性統合失調患者の社会復帰に関する施設として正しいのはどれか？

- a ショートステイ b 助産寮 c ナイトケア d 福祉ホーム e デイケア
1 abc 2 abe 3 ade 4bcd 5cde

(解答) 5。

14番 病態と脳波所見で正しい組み合わせはどれか

- 1 肝性脳症—PSD 2 ナルコレプシー—早期REM睡眠 3 橋出血—α波
4CDJ—三相波 5 點頭てんかん—ヒプスアリスミア
A12 B15 C23 D34 E45

(解答) 2,3,5? 肝性脳症で三相波、CJD で PSD、West 症候群でヒプスアリスミアが認められる。点頭てんかん=West 症候群。

15. 正しいものをひとつ選べ

- A.タバコは精神抑制系の薬物である。 B.アルコールは身体依存性がない。
 C.我が国では女性のアルコール依存症は減少している。
 D.血中アルコール濃度が 200mg/dl 以上では意識障害を生じる。
 E.少量のアルコールでは病的酩酊は認めない。

(解答) D。

- ×A 興奮性の薬物である。ニコチン受容体を刺激する。 ×B 身体依存性がある。
 ×C 増加傾向。キッチンドリinker等の事例があり、問題となっている。
 ○D 200mg/d l 以上では泥酔期である。
 × E 基礎疾患によっては少量でも病的酩酊を生ずる事がある。

16. 薬物依存について誤っているものを選べ。

- A シンナーは幻覚剤依存の一種である。 B 向精神病薬依存は抗不安薬によることが多い。
 C 覚醒剤依存では次第に使用量が増える。 D 市販の鎮咳薬や解熱鎮痛薬でも依存が生じる。
 E 法律上、麻薬にはコカイン、LSD は含まれない。

(解答) E。コカイン、LSD は麻薬取締法の対象である。

- B ベンゾジアゼピン誘導体による常用量依存が問題となる。精神依存はなく、身体依存である。
 ○C 興奮性であり、身体依存ではなく精神依存を形成する。また、耐性が形成される。
 ○D 鎮咳薬にコデインがあり、アヘン類の一つである。 × E

17. 神経症性障害の治療でほとんど用いられないものはどれか?

- A, 森田療法 B, 内観療法 C, 家族療法 D, 認知行動療法 E, 電撃けいれん療法

(解答) E 電撃けいれん療法の適応は薬物の効果が不十分な精神分裂病とうつ病である。

18. 精神病症状を併発することのある薬物はどれか。

- 1 利尿薬 2 インターフェロン製剤 3 ステロイド製剤 4 ビタミン剤 5 インスリン製剤
 A 12 B 23 C 34 D 45 E 15

(解答) B。インターフェロン、ステロイドに精神症状誘発が認められることが知られている。

19 神経性食思(欲)不振症について正しいものはどれか。

- (1) 期待される体重の85%以下の体重が続く。 (2) 食行動の異常はない。
 (3) 体重が増加しないことを苦にしている。 (4) 通常無月経が見られる。
 (5) 自分がやせすぎていることを気にしない。

- A(1)(2)(3) B(1)(2)(5) C(1)(4)(5) D(2)(3)(4) E(3)(4)(5)

(解答) C

神経性食思不振症(anorexia nervosa;AN)の診断基準 ((1)~(6)全て満たすこと)

- (1)発症年齢 30 歳以下 (2)標準体重の-20%のやせ (3)食行動の異常(不食、大食、隠れ食いなど)
 (4)体重や体型について歪んだ認識(体重増加に対する極端な恐怖など) (5)(女性なら)無月経
 (6)食欲不振及び体重減少の原因となる明らかな器質的疾患が無い。

その他の特徴として、・多毛 (-)、恥毛、腋毛正常、うぶ毛増加 ・低血圧、低体温、便秘等の自律神経失調 ・やせ願望。病識が無く、比較的活動的

20. 神経性過食症において見られる精神症状はどれか。

1. 抑うつ 2. 過眠 3. 幻覚妄想 4. 過活動 5. 強迫症状
a.12 b.15 c.23 d.34 e.45

(解答) b. 大食、排出行動、強迫症状が認められる。

21. アルツハイマー病において SPECT で早期より異常が認められる部位はどこか。

1. 前頭葉 2. 頭頂葉 3. 側頭葉 4. 後頭葉 5. 大脳基底核
A.12 B.23 C.34 D.45 E.15

(解答) B. 頭頂葉、側頭葉で早期より代謝低下が認められる。

1 と 2 の選択肢を逆に覚えたかもしれません。

22. 正しいものを選べ

- A アルツハイマー病は家族性に発症するものが多い B ピック病は側頭葉～後頭葉にかけて萎縮が目立つ
C アルツハイマー病の初期には着衣失行がみられる D びまん性 Lewy 小体病には抗精神病薬が有効
E 進行麻痺は原因不明の変性疾患である

(解答) 正しいもの無し。A のアルツハイマー病は散発性が多い。B ピック病は前頭葉～側頭葉にかけて萎縮が目立つ。C は早期の着衣失行は認めない。D は抗精神病薬過敏で症状が悪化する事がある。E は梅毒トレポネーマによる脳炎である。

24 次の組み合わせのうち正しいのはどれか。

1. 三環系抗うつ薬...モノアミン取り込み阻害 抗精神病薬...ドーパミン D2 受容体遮断
2. 抗不安薬...ベンゾジアゼピン受容体結合 気分安定化薬...ドーパミン前駆体物質
3. 抗てんかん薬...グルタミン酸受容体刺激
A 123 B 125 C 145 D 234 E 345

(解答) A. 1 は正確には、モノアミン再取り込み阻害。

4 の気分安定化薬はリチウム製剤であり、作用機序は不詳。有効濃度と中毒濃度が近く、注意を要する。5 の抗てんかん薬は、Na チャネル抑制、GABA 作用増強等の作用を有する。

25. 依存性がないものはどれか。

- 1 抗不安薬 2 抗うつ薬 3 抗精神病薬 4 ベンゾジアゼピン系 5 バルビツール系睡眠薬
A 12 B 23 C 34 D 45 E 15

(解答) B であると考えられます。1、4、5 には依存性が認められます。

26 抗精神病薬により生じやすい副作用は？

- 1 ジストニア 2 アカシジア 3 ジスキネジア 4 低プロラクチン血症 5 体重減少
A 123 B 125 C 145 D 234 E 345

(解答) A. 4、5 については誤りで、高プロラクチン血症と、肥満を生ずる。ジストニアは運動亢進と筋緊張、アカシジアは静座不能症、ジスキネジアは不随意運動で、いずれも錐体外路症状である。

27 ベンゾジアゼピン系薬の臨床的薬理作用でないものはどれか。一つ選べ

- A 抗不安作用 B 抗幻覚妄想作用 C 抗けいれん作用 D 催眠作用 E 筋弛緩作用

(解答) B. 抗幻覚妄想作用は持っていないとされている。A、C、D、E は何れも有する。

28、29 症例問題 2002年卒業試験の29番と同じでした。

38歳の女性。6ヶ月前から誘引がないにもかかわらず、発作的に呼吸が苦しくなり、動悸がして「このまま死ぬのではないか」という恐怖におそわれるようになった。その都度、救急車で病院に搬送されることが頻繁となった。「また発作が起こるのではないかと不安で、ひとりで外出もできない」と訴えて来院した。診察時の態度は、緊張はしているが概ね自然であり、話の内容もまとまっている。発作中の記憶もよく保たれている。身体所見に異常を認めない。この患者にみられるものはどれか (2個)

選択肢 A 広場恐怖 B 社会恐怖 C 不潔恐怖 D 死の恐怖 E 発狂恐怖

(解答) A、D。発作が心配で外出できないことから、A 広場恐怖がある。又、D 死の恐怖も見られる。この症例はパニック障害であると考えられる。

29. この患者に有効なのはどれか。

1 認知行動療法 2 抗うつ病 3 抗精神病薬 4 抗けいれん薬 5 選択的セロトニン再取り込み阻害薬

A 123 B 125 C 145 D 234 E 345

(解答) B。

抗不安薬のSSRI、抗鬱薬(青斑核抑制作用とされる)、認知行動療法が有効とされる。

症例) 27歳男性。物事を何度も確認しないと安心できないと訴えて来院した。高校時代に字を書いても計算しても間違いの有無を調べ続けた。その後対象は拡大して鍵やガス栓の確認を何度もするようになった。そのため何をするにも時間がかかり、本人も疲れ、職場も毎日遅刻するようになった。治療を強く希望している。

32. この症例の診断名を答えよ。

答え) 強迫性障害。自分では無意味とわかっている行動を止められず反復してしまい、社会生活に弊害を生ずる。

34/35 (たぶん文章は過去問どおり) 56歳男性。頑固な不眠と日中の眠気を主訴に妻に伴われて来院した。2年前から熟眠感が失われ日中に疲労を感じよく居眠りするようになった。職場でも仕事の能率低下に気づかれている。妻によると2年前から睡眠中のいびきがひどく、時々呼吸が止まった状態になるという。身長160cm、体重90kg、咽頭に異常を認めない。抑うつ気分、不安はない。

34. この疾患の診断に最も有用な検査は何か。

(解答) パルスオキシメーター。この症例は睡眠時無呼吸症候群と考えられる。

35. この患者にまず行うべき治療法はどれか。

1、イミプラミン投与 2、ベンゾジアゼピン系薬投与 3、メチルフェニデート投与
4、経鼻持続陽圧呼吸 5、軟口蓋の外科手術

(解答) 4。鼻マスクを装着し、気道内に5~15 cm H₂O程度の陽圧を加える。

36、37. 8歳の男児、コミュニケーションがうまくとれないことを訴え、母親がつれて来院した。乳幼児期に運動発達は正常だが、おうむ返し(反響言語)が多く、友達がつくれず孤立している。特定の対象のみ、がんに興味を持ち、いつも同じ遊びを繰り返している。環境が少しでも変化すると、不安がって大騒ぎする。児童福祉施設での知能検査はIQ59。次のうちこの患者にあてはまるものを答えよ。

1. 人格障害 2. 行為障害 3. 多動性障害 4. 知的障害 5. 広汎性発達障害

A 12 B 15 C 23 D 34 E 45

(解答) E。自閉性障害と考えられる。対人関係の障害、限定された興味、多動、知能低下等が認められる。

37 アスペルガー障害は、この患者の病態とどの症状で鑑別されるか。[]内に記入せよ。

(解答) 自閉性障害と異なり、アスペルガー障害には言語発達の遅れがない。

38. 13歳の男子。不登校を主訴として両親に伴われて来院した。中学校入学後間もなく、朝起きたときに腹痛、嘔気および頭痛を訴えて学校も休み始めた。しかし、昼過ぎには症状が消失して元気になる。近医を受診しても特に病気はないと言われた。2ヶ月以上も学校を休んでいて、気持ちがいらだち、勉強の遅れを気にしてイライラしている。適切な対応はどれか。

- 1)教師が厳しく接する 2)家族と対応を話しあう。
3)遊戯療法、箱庭療法等の非言語的表現を用いる。 4)SSRIを用いる 5)分析療法

(解答) 2) であると考えられます。

問39 57歳の男性。3ヶ月前から食欲低下と不眠が出現した。同時に趣味であった囲碁を楽しめなくなり、仕事の能率も低下してきた。会社を欠勤するようになり、悲観的なことを言うようになったので家族に伴われ来院した。意識は清明。会話は遅く声も小さい。皆に迷惑をかけ申し訳ない、死んだ方がましだ、と訴える。この疾患と関連の深い気質、性格類型はどれか。(93F-36)

- (1)粘着気質 (2)循環気質 (3)メランコリー型性格 (4)執着気質 (5)依存性格
a.123 b.125 c.145 d.234 e.345

(解答) d。症例よりうつ病と考えられ、循環気質(社交的だが孤独感が強い)、メランコリー型気質、執着気質(律儀で責任感が強い)に関連が有ると考えられる。

40. 39番のつづき この症例について正しいものはどれか。

- A 意識が高度に障害される。 B 幻覚を伴う病型がある。 C 思考が障害されることはない。
D 慢性化することはない。 E 体重減少は生じない。

(解答) B。意識が高度に障害されることはない。思考は障害されうる。慢性化、体重減少も生じ得る。

22歳男性。不眠を訴えて来院。就職したころから夜寝付けず、明け方近くにやっと寝つき、昼過ぎに起きるようになった。そのため遅刻や欠勤が続いている。母親には協力してもらい朝起こしてもらいが、眠気が強く仕事に集中できない。職場では意志が弱いとよく注意される。性格は真面目で努力家。

41. この疾患の診断は何か。(41、42でセット)

(解答) 睡眠相後退症候群と考えられます。サーカディアンリズムが24時間より長くなり、就寝が遅くなり、朝起きる事が困難になります。

42 正しい治療はどれか。

- 1 上司による厳しい指導 2 抗うつ薬 3 ハロペリドール 4 睡眠導入薬 5 高照度光療法
A123 B125 C145 D234 E345

(解答) E。

(43、44でセット、02年の36の文章と同じ) 19歳の男性。大学入学時から両親の元を離れ、叔父宅に下宿していた。3ヶ月前から「皆が自分の悪口を言っている」、「自分の考えが筒抜けになっている」などと訴え、大学を休んでいた。最近2週間は夜になると徘徊し、時々興奮して部屋の物を壊すため、叔父が強引に精神科医を受診させた。精神保健指定医は入院治療が必要と判断したが、患者は黙っている。最も適切な対応はどれか。※94E-1

- a. 両親と後日来院してもらい、医療保護入院とする。
b. 幻覚妄想状態なので、任意入院はできない。 c. 叔父の同意を得て、医療保護入院とする。
d. 患者に説明し、任意入院とする。 e. 所轄警察署に連絡して措置入院の手続きをする。

〈解答〉 d、本人が同意するのであれば、任意入院の形が最善と考えられる。

44. この患者で予想される症状はどれか。

- 1 貧困妄想 2 強迫観念 3 妄想知覚 4 思考伝播 5 対話性幻聴

A 123 B 125 C 145 D 234 E 345

〈解答〉 E。

〈解説〉 症状、年齢から見ても精神分裂病でしょう。年齢的には破瓜型でしょうか。よって使われる薬物はメジャートランキライザーで主な副作用としてはパーキンソニズム、悪性症候群、あと乳汁分泌も起こすそうです。悪性症候群は他には麻酔やL-DOPA を中止したときなどにも現れる事があります。

(45、46 でセット) 46. この患者で適切な治療法はどれか。

- 1 抗てんかん薬 2 精神刺激薬 3 三環系抗うつ薬 4 持続的気道陽圧法 5 高照度光照射

A 12 B 23 C 34 D 45 E 15

〈解答〉 問題が不完全なので解答できません。

(47、48 でセット) 32 歳男性。痙攣発作で来院した。23 歳時、幻覚、妄想および興奮で精神科に 6 ヶ月入院し、以後抗精神病薬を飲み続けていた。2 ヶ月前より大量の水分を摂取している。診察時、痙攣はない。血清生化学所見 Na125mEq/l、K4.0mEq/l、Cl90mEq/l、血清浸透圧 250mOsm/l (基準 275~288)、尿浸透圧 100mOsm/l (基準 50~1300)

47. この病態の原因としてはどのようなことが考えられるか。【 】内に記入せよ。

〈解答〉 大量の水分摂取による低 Na 血症、それに伴う脳浮腫が考えられる。SIADH 合併による水中毒と考えられる。

48. 最も適切な処置はどれか。

- A 水分制限 B ブドウ糖輸液 C 高張食塩水輸液 D ジアゼパム静注 E フェニトイン静注

〈解答〉 A。この他、輸液、電解質補正も必要。

次の文章を読んで問題 49/50 を答えなさい。

2002 年、日本精神神経学会は「精神分裂病」という呼称を「統合失調症」に変更した。そもそも精神分裂病という呼称はブロイラーが提唱した Schizophrenia という病名を 1930 年代に直訳したものであるがこの疾患の理解が当時と大きく変わってきたことが変更された理由の一つである。また精神分裂病という呼称があたかも人格異常者のような誤ったイメージを与えるため、精神障害者に対する偏見の背景をなすものとして、長年患者家族団体が反対してきたものであった。実際、統合失調症という呼称は患者家族団体の支持を得られたものである。

49. 下線部を具体的に説明せよ。

〈解答〉 当時では時間の概念を与えていなかったが、現在では横断的な観察と共に縦断的な観察も重視していること。(確信は持てませんが)

50 番の問題がないので、解答が出来ません。

2005年度概説試験

全員合格

1. ○×問題

- (1)せん妄状態では、意識障害が無い。
- (2)振戦せん妄は、アルコール離脱時に見られる。
- (3)全般発作にはバルプロ酸が第一選択薬である。
- (4)側頭葉てんかんは全般性発作に含まれる。
- (5)意識障害の診断に脳波は有用でない。
- (6)ナルコレプシーにはREM睡眠の過剰が見られる。
- (7)インターフェロンには精神症状の副作用はまれである。
- (8)アルツハイマー病のもっとも特徴的な病理所見はレビー小体である。
- (9)ピック病においては局所血流の低下が前頭葉や側頭葉で見られる。
- (10)脳波は通常加齢とともに変化する。
- (11)見当識は時間、場所、人物の順に障害される。
- (12)幻視や幻触は器質性精神障害に特徴的である。
- (13)せん妄状態においては症状の経時的変化はめだたない。
- (14)ピック病は脱抑制などの人格変化が起きる。
- (15)三相波はヤコブ病に特徴的な所見である。
- (16)振戦せん妄はベンゾジアゼピンが通常使用される。
- (17)MMSE(Mental State Examination)は器質性精神障害の診断によく用いられる。
- (18)脳波上発作波があれば、てんかん発作が起きていなくても抗てんかん薬を投与する。
- (19)ピック病の有病率はアルツハイマー病のそれより高い。
- (20)脳死判定に脳波検査はかかせない。

2004年概説試験4番、2003年概説試験4番に類似

解答 (1)× 軽い意識混濁と強い意識狭窄に高度の認知障害が加わった意識の変容がある。

- (2)○ 最終飲酒後2～3日で生じる後期離脱症状。 (3)○
- (4)× 複雑部分発作に分類される。 (5)×?
- (6)○ non-REM睡眠をとばして一挙にREM睡眠に陥る。 (7)×
- (8)× 老人斑(ベータアミロイド)が特徴的。
- (9)○ 前頭葉・側頭葉で萎縮が見られる。 (10)○ (11)○ (12)○
- (13)× 短期間(数時間から数日)で出現する。1日のうちでも波があり、夕方～夜間前半にかけて増悪する傾向がある(夜間せん妄) (14)○
- (15)× 周期性同期性放電(PSD)が見られる。三相波は肝不全で見られる。 (16)○ (17)○
- (18)× 発作症状とEEGから発作型を確定してから治療する。
- (19)× 稀な疾患で、アルツハイマー病との比率は1:100。
- (20)○ 「平坦脳波」は診断基準の一つ。また、植物状態(脳波+)との鑑別にも必要。

2. ○×問題

- (1) 広汎性発達障害(PDD)の子の中核症状は精神発達遅滞である。
- (2) 広汎性発達障害の治療薬はメチルフェニデートである。
- (3) 注意欠陥多動性障害(ADHD)の生涯発症率は約1%である。
- (4) 軽度発達障害は女兒に多い。
- (5) 児童精神外来を受診する子の主訴と親の主訴はほとんど一致している。
- (6) 教育従事者の情報は養育者の情報ほど、精神障害の診断に寄与することは少ない。
- (7) 被虐待児では虐待を受けていない子に比べ、注意欠陥多動性障害の発症頻度は少ない。

- (8) 虐待している親は自身が虐待していることを認識しており、そうした親の精神障害の発症率は虐待していない親と変わらない。
- (9) 産後うつ病は育児の負担が大きくなる産後6ヶ月後くらいから発症しやすい。
- (10) 産後うつ病発症の危険因子として最も重要なものは産科合併症である。
- (16) うつ病は過眠をきたさない。
- (26) 漢方薬は精神疾患には効果がない。

解答 (1)× (2)× (3)× (4)× (5)× (6)× (7)× (8)× (9)× (10)×

- (1) ×: 発達遅滞がみられる頻度が高いですが、PDDの症状の中核は対人関係の障害です。広義のPDDに含まれるAsperger症候群では精神発達遅滞はみられません。
- (2) ×: メチルフェニデートはADHDの治療薬。PDDでは行動療法や心理療法などを行います。
- (3) ×: 約5%と講義中にありました。
- (4) ×: PDD, チック, ADHD 全て男児の方が多い。
- (5) ×: 親が子供の異常をきちんと認識していないことも多いので、子供と二人だけで話をする必要があります。
- (6) ×: 「学業や他の子との生活がうまくいっていない」という教師の気付きから疾患が明らかになることも多い。
- (7) ×: ADHDの障害頻度は5%ですが、被虐待児では30%にのぼります。
- (8) ×: 親の精神障害が子の虐待に寄与している例は少なくありません。
- (9) ×: 産後1,2週～1,2ヶ月が発症時期。
- (10) ×: 精神科既往歴・望ましくないライフイベント・周囲の支援不足・負荷の大きな育児(子の疾患など)・望まれない妊娠などがリスク。
- ※このパートを担当される先生の出題は、例年×が多いようです...

3 穴埋め問題

- (1)(4)(5)は廃問
- (2)メランコリー型の身体症状としてとくに重要なものは、食欲低下、体重減少、性欲減退および [] である。
- (3)躁病に見られる思考障害のうち、いろいろな考えが次々に湧いてきて話題がポンポン飛んで話の脈絡がなくなること [] という。

解答 (2)早朝覚醒 (3)観念奔逸

4 ○×問題

- (1)神経症は心因の関与が大きいと考えられる器質性の精神障害である。
- (4)神経症の薬物療法では従来より用いられている抗不安剤の他抗うつ剤を積極的に用いるようになってきている。
- (5)神経症では環境の影響が小さいものほど治療予後がいい。
- (6)身体表現性障害は以前は神経症と分類されていたが、新しい診断基準で概念化されたものである。
- (9)アセトアルデヒドの分解酵素を阻害する嫌酒薬の名前

2004年概説試験3番と類似

解答 (1)× 機能的な精神身体障害 (4)○ (5)× 症状持続が短く、性格問題が小さく、環境因子が大きいと予後良。(6)○? (9)シアナミド cyanamide

- 5 次の各文で正しいものには○を、間違っているものには×を記し、間違っているものにはその理由を記述せよ。なお○×で答えられないものには、題意に従って答えを解答せよ。
- (1)思考途絶は、統合失調症でよく見られる症状のうちの一つである。
 - (2)思考抑制は、うつ病性の感情障害で見られる症状のうちの一つである。
 - (3)錯覚と幻覚は区別がつかず、一般の精神病性障害でよく見られる。
 - (4)人は精神科症候学によって、正常と異常に医学的に区分される。
 - (5)せん妄は、意識障害のひとつの表現型であり、精神運動性興奮を伴うこともあるが、伴わないこともある。
 - (6)せん妄は、術後せん妄、震戦せん妄、夜間せん妄、作業せん妄、等種々の疾患において起こり、種々の症候学的表現型を取る。
 - (7)統合失調症は、薬物療法は無効である。
 - (8)統合失調症は、精神療法は無効である。
 - (9)統合失調症の薬物療法の基本は、クロールプロマジン、ハロペリドールを中心とした古典的抗精神病薬の使用である。
 - (10)減裂思考の重症状態は、言葉のサラダとも言われ、統合失調症の特有に見られる思考障害である。
 - (11)中毒性精神病では、統合失調症に比較して、幻覚においては幻視が見られることが多い。
 - (12)電気痙攣療法はその変法まで含めて、現在効果に関して否定的であり、全く行われていない療法である。
 - (13)うつ病で特徴的に見られる妄想は、微小妄想、貧困妄想、罪業妄想などである。
 - (14)連合弛緩は、躁病でよく見られる思考障害である。
 - (15)1950年代の精神科治療は、フロイトの影響もあり、精神分析的治療が盛んであったが、現在は生物学的精神医学の分野が急速に進歩している時代である。
 - (16)うつ病では、過眠はきたさない。
 - (17)抗精神病薬投与中に、筋緊張更新、高熱、多量の発汗、振戦、CPKの上昇が見られた。その治療のため、抗精神病薬を増量した。
 - (18)悪性症候群に最もよく用いられる、治療剤は何か?
 - (19)炭酸リチウムは、躁病、感情障害に用いられ効果がある薬剤として知られているが、副作用として中毒症状の出現が報告されている。そのため血中濃度を測定しながら投与することが望ましいが、中毒症状で最も注意しなければならないのが、急性肝細胞壊死である。
 - (20)抗うつ剤の効果出現は、比較的早くどれも約2、3日である。
 - (21)うつ病の治療で用いられる3環系抗うつ薬の副作用は、抗コリン作用が問題となる。たとえば、口渇、唾液分泌減少、起立性低血圧、視力調節障害、尿閉等がある。
 - (22)ICU シンドロームとは、治療に絶望し、離人症や恐怖症を起こすことである。
 - (23)慢性期の統合失調症においては、生活療法や社会復帰支援(レクリエーション療法、作業療法等)は、あまり効果がないため、それらを行うことや施設の設置はあまり意味がない。
 - (24)次のうち統合失調症に特徴的な症状はどれか?
 1.妄想知覚 2.作為体験 3.情動失禁 4.両価性 5.常同言語
 6.観念奔逸 7.思考察知 8.滞続言語 9.思考途絶 10.気分倒錯
 - (25)近年日本にも導入された、新しい抗精神病薬であるSDAやMARTAに属する薬剤は、古典的抗精神病薬のクロールプロマジンやハロペリドールと比較して副作用が少ないのは明らかだが、効果が少ないのであまり用いられない。
 - (26)漢方薬は、精神疾患には効かないので処方しないほうがよい。
 - (27)漢方薬は精神医学的症候に対してのみ、対症的に用いるのが望ましい。
 - (28)漢方薬を処方中に証が変化しても同じ薬を投与し続けるほうが良い。
 - (29)狭義のリエゾン精神医学と狭義のコンサルテーション精神医学とは概念が異なる。
 - (30)精神医学的薬物治療においては、単剤投与が原則である。

(1)~(25)は2004年概説試験9番と同じ。

解答 (26)× (27)× (28)× (29)○ (30)○

(27) ×: 漢方の基本的考えは"心身一如"であり、精神と身体両方の症候に働き掛ける。

(28) ×: 証に合った処方(随証療法)でないと、副作用(誤治)が起こりやすい。

(29) ○: リエゾンでは精神科医がチームに常駐し、トラブルを予防する意味があります。コンサルテーションの場合は何か問題が起こったときに精神科医が借り出されるということです。

(30) ○: (特に統合失調症の場合は) 原則単剤投与。単剤でダメならやむなく併用という例も現場ではまれでないようですが。

6 各文章の()内に最も適切な語句を記入しなさい。

1)精神保健福祉法において、精神保健医の診察による入院が可能なのは医療保護入院、()入院、応急入院である。

5)うつ病の睡眠障害の特徴は()、中途覚醒、再入眠困難である。

6)うつ病の病前性格として、クレッチマーは循環気質を提唱したが、それに対して九州大学の下田光造は()気質を提唱し、国際的にも注目された。

解答 1)措置 5)早朝覚醒 6)執着

7 ○×問題

(2)1970年代以降、日本を除く先進諸国では精神科病床数が著しく減少した。

(9)急性覚醒剤中毒の離脱時には抑うつ状態と食欲抗進になる。

解答 (2)○ (3)○? 現れる症状としては、不快気分のほかに疲労感、鮮明で不快な夢、不眠または過眠、食欲の亢進、精神運動制止または興奮、など。

8 次の神田橋篠治先生の文章を読んであとの問に答える。

(1)一般の医療現場でみられるプラシーボ効果について例を挙げて説明しなさい。

(2)治療計画について患者に説明する時に「プラシーボ効果」を高めるために医師がとるべき態度や振る舞いについて述べなさい。

解答例 (1)痛みを訴える患者に、「これは痛みに効くよ」と言って乳糖を与えると、痛みが無くなったり吐き気がでたりすることがある。このときプラシーボにあたるのが乳糖であり、プラシーボ効果にあたるのが鎮痛効果であり(治療効果)吐き気(副作用)である。

(2)望ましいプラシーボ効果がうまれるためには、良好な医師患者関係が欠かせない。患者の訴えを受容し、また共感し、確かな臨床能力を備えた上で臨むのが良い。

2004年度概説試験（獲得）

1. 各文章の [] 内に最も適切な語句を記入しなさい。
- 1) 精神保健指定医の診察の結果、入院治療が必要と判断されたが、患者は病識を欠き、同意する能力が不十分であるため、保護者の同意を得て [] 入院となった。
 - 2) 米国精神医学会の診断基準 DSM-IV によれば、気分障害のカテゴリーには「大うつ病」、「双極性障害」、「気分循環症」および [] がある。最後のものは、かつて抑うつ神経症と呼ばれたものに該当する。
 - 3) 「大うつ病」ではほとんど一日中、毎日みられる [] と興味、関心の著しい減退が2週間の間存在する。
 - 4) うつ病にみられる妄想は微小妄想と呼ばれ、貧困妄想、心気妄想、および [] 妄想が代表的である。
 - 5) メランコリー型の身体症状としてとくに重要なものは、食欲低下、体重減少、性欲減退および [] である。
 - 6) 躁病にみられる思考障害のうち、いろいろな考えが次々に湧いてきて話題がポンポン飛んで話の脈絡がなくなることを [] という。
 - 7) 双極性障害に対する気分安定化薬として、我が国では [] と抗てんかん薬でもあるカルバマゼピン、およびバルプロ酸が使用できる。
 - 8) [] が抗コリン副作用を生じやすいのに対して、近年、臨床での使用が可能になった選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) は消化器症状が副作用として生じやすい。
 - 9) アルコール依存症の離脱症状のうち、意識障害を基盤に幻覚妄想状態を呈し、不安や恐怖の色彩が強いものを [] と呼ぶ。
 - 10) ロールシャッハテストは、代表的な [] 法による心理検査である。

解答 (類) 15年度概説大問1

- 1) 医療保護 「精神保健・法と精神医学」プリント3枚目
- 2) 気分変調症 2) ~ 8) は「6/4、14 気分障害」 3) 抑うつ気分 4) 罪業
- 5) 早朝覚醒 6) 観念奔逸 7) リチウム 8) 三環系抗うつ薬 あわせて「6/3 精神障害の治療-薬物療法」も参照 9) 振戦せん妄 「6/15 アルコール・薬物関連障害」プリント2枚目
- 10) 投影 「6/16 精神保健・法と精神医学」プリント1枚目

2. 次の文章のうち、正しい内容には○を [] 内につけよ。
- 1) [] WHOの統計によれば、疾患をその障害のために個人や社会に与える損失の程度 (Disability Adjusted Life Year) によって評価した場合、現在、人類に最も大きな負担をもたらしている精神障害はうつ病である。
 - 2) [] 1970年代以降、日本を含む先進諸国では精神科病床数が著しく減少した。
 - 3) [] 我が国の精神科入院患者のうち、条件が整えば退院可能な者は7万5千人もおり、彼らを地域で受け入れるためには援護寮、福祉ホーム、グループホームなどの社会資源をもっと増やす必要がある。
 - 4) [] 大うつ病の生涯有病率は1%である。
 - 5) [] うつ病の患者にはできる限り気分転換を勧め、自信を持たせるために叱咤激励する。
 - 6) [] モルヒネ型依存では身体依存を生じる。
 - 7) [] アルコール幻覚症では意識は清明である。
 - 8) [] 血中アルコール濃度 250mg/dl 以下ではふらつきは生じない。
 - 9) [] 急性覚醒剤中毒の離脱期には疲労感が強く、食欲が低下する。
 - 10) [] Mini Mental State Examination (MMSE) は、痴呆の症状評価によく用いられる。

解答 (類) 15年度概説大問2

- 1) ○ 「6/16 精神保健・法と精神医学」プリント5枚目
- 2) × 「6/16 精神保健・法と精神医学」プリント2枚目 (日本以外)
- 3) ○ 「6/16 精神保健・法と精神医学」プリント4枚目
- 4) × 「6/4、14 気分障害」(5~15%)

- 5) × 「6 / 4、1 4 気分障害」あくまで支持的・受容的に。
 6) ○ 「6 / 1 5 アルコール・薬物関連障害」プリント1枚目 (身体依存はモルヒネ・アルコール)
 7) ○ 「6 / 1 5 アルコール・薬物関連障害」プリント2枚目
 8) × 「6 / 1 5 アルコール・薬物関連障害」プリント1枚目
 9) × 「6 / 1 5 アルコール・薬物関連障害」プリント4枚目 (食欲は亢進)
 10) ○ 「6 / 1 6 精神保健・法と精神医学」プリント1枚目

3. 下記について正しいものには○、誤っているものには×を記せ。

- 1) () 神経症は心因の関与が大きいと考えられる器質性の精神障害である。
 2) () 現在の国際的な疾患分類においては「○○神経症」という名称は全く用いられていない。
 3) () 系統的精神療法のうちもっとも長い歴史をもつものは森田療法である。
 4) () 神経症の薬物療法では、従来より用いられている抗不安剤の他抗うつ剤を積極的に用いるようになってきている。
 5) () 神経症では、環境の影響が小さいものほど治療予後が良い。

解答 「6 / 7、8 神経症性障害」1) × 7日プリント1枚目 (機能的) 2) ○ 7日プリント3枚目
 3) × 8日プリント5枚目 (精神分析療法) 4) ○ 8日プリント2枚目 5) × 8日プリント1枚目
 (症状持続が短く、性格問題が小さく、環境因子が大きいと予後良)

4. 下記について正しいものには○、誤っているものには×を記せ。

- 1) () ナルコレプシーには睡眠発作はみられない。
 2) () せん妄状態にみられる意識障害は昏睡状態のような重度のものである。
 3) () 副腎皮質ステロイドには精神症状の副作用はまれである。
 4) () 側頭葉てんかんは部分てんかんに分類される。
 5) () 幻聴は器質性精神障害にはみられない。
 6) () 複雑部分発作にはカルバマゼピンが第1選択である。
 7) () 成人の正常脳波ではγ波はみられない。
 8) () 見当識は人物、場所、時間の順に障害される。
 9) () 自己免疫疾患のうち、最も器質性精神障害の病像を呈しやすいのはSLEである。
 10) () 三相波は肝不全に特徴的な脳波所見である。

解答 「5 / 2 1 睡眠障害・器質的精神障害」、(類) 1 5 年度概説大問4

- 1) × 9枚目。睡眠発作、脱力発作、睡眠麻痺、入眠時幻覚が四徴です。
 2) × 1枚目。JCSで2桁までの比較的軽度の意識障害。
 3) × 1枚目。ステロイドは精神症状を起こしやすい薬剤。
 4) ○ 6、7枚目。 5) × 1枚目。アルコール幻覚症の幻覚は主に幻聴。
 6) ○ 6、7枚目。部分発作にカルバマゼピン、全般発作にはバルプロ酸。 7) ○ ?
 8) × 毎日更新せねばならない時間が真っ先に、続いて場所、人物の順で障害されます。
 9) ○ 1枚目。 10) ○ 4枚目。肝性脳症で特徴的に見られます。

5. 1) アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆、ピック病に関して以下より特徴的な臨床症状を2つずつ選べ。

- 1 視空間失認 2 感情失禁 3 脱抑制 4 まだら痴呆 5 保続 6 健忘失語

解答 (類) 1 5 年度概説大問5、1 4 年度概説大問7、1 3 年度概説大問6 解説は1 5 年度参照。
 アルツハイマー型痴呆 (1, 5) 脳血管性痴呆 (2, 4) ピック病 (3, 6)

2) アルツハイマー型痴呆、ピック病に関して single photon emission computed tomography (SPECT) にて局所血流量低下を示す部位を以下から2カ所ずつ選べ。

- 1 前頭葉 2 側頭葉 3 頭頂葉 4 後頭葉

解答 アルツハイマー型痴呆 (2, 3) ピック病 (1, 2)

6. 下記について正しいものには○、誤っているものには×を記せ。

- 1) () アスペルガー障害は、コミュニケーションの障害があり言語発達が遅れる。
- 2) () 精神遅滞の児は、健常児に比較するとうつ病の発症の頻度は少ない。
- 3) () トウレット障害の薬物療法の第1選択剤はメチルフェニデートである。
- 4) () 注意欠陥多動性障害の薬物療法の第1選択剤はハロペリドールである。
- 5) () 産後うつ病は、発症頻度は他の時期のうつ病より少ないが、重症例が多い。

解答 (類) 15年度概説大問6、14年度概説大問8、13年度概説大問7

「6/11 小児期・青年期精神障害」

- 1) × アスペルガー障害では言語発達は遅れません。これは自閉症の説明です。 2) ×?
- 3) × ハロペリドール。メチルフェニデートは症状を悪化させます。
- 4) × メチルフェニデートです。 5) × 症状は軽いが頻度が高い、とされています。

7. DSM-IVについてその構造を説明し、精神科診断分類における利点を述べよ。

解答例 「6/11 小児期・青年期精神障害」参照

DSM-IVの特徴には「多軸診断」と「操作的診断」がある。多軸診断とは多くの面から、総合的に患者をとらえる、ということで、具体的にはDSM-IVは1. 臨床症状に基づく主要診断、2. 精神遅滞と人格障害、3. 基礎身体疾患の有無、4. 心理社会的・環境的要因の有無、5. 機能の全体的評定、という5つの軸からなる。操作的診断とは、診断を誰が行うかにかかわらず、あらかじめ設定された項目のチェックを行えば、同じ診断にたどりつける、ということである。

8. 1) 精神療法が成り立つために何が必要と思うか。三つ以上の「もの」あるいは「こと」(または「きっかけ」など)を挙げ、自らの考えを簡単に述べよ。
- 2) 「精神療法」はどのように分類できると思うか。三つ以上に分ける試みを行ない、簡単に自らの考えを説明せよ。

解答例 「6/10 精神障害の治療-精神療法」参照

- 1) 良好な医師患者関係、患者に対する周囲の理解、時間(根気)...何を書いても良さそうですが。
- 2) これも精神療法について何なりと記述すればそれでいい、という意味だと思いますが...
例えばステップでは、「支持的精神療法」、「表現的精神療法」、「洞察的精神療法(精神分析療法など)」、「訓練療法(森田療法、自律訓練法、行動療法など)」、「集団精神療法」、「家族療法」に分類されています。

9. 以下の文章を読み、正しいものには○、誤っているものには×を記し、誤っている場合は[]内に理由を述べよ。また、○×で答えられないものについてはその設問の意図するところに従い答えを書くこと。

- 1) 思考途絶は、統合失調症でよく見られる症状のうちの一つである。
- 2) 思考抑制は、うつ病性の感情障害で見られる症状のうちの一つである。
- 3) 錯覚と幻覚は区別がつかず、一般の精神病性障害でよく見られる。
- 4) 人は精神科症候学によって、正常と異常に医学的に区分される。
- 5) せん妄は、意識障害のひとつの表現型であり、精神運動性興奮を伴うこともあるが、伴わないこともある。
- 6) せん妄は、術後せん妄、震戦せん妄、夜間せん妄、作業せん妄、等種々の疾患において起こり、種々の症候学的表現型を取る。
- 7) 統合失調症は、薬物療法は無効である。
- 8) 統合失調症は、精神療法は無効である。
- 9) 統合失調症の薬物療法の基本は、クロールプロマジン、ハロペリドールを中心とした古典的抗精神病薬の使用である。
- 10) 減裂思考の重症状態は、言葉のサラダとも言われ、統合失調症の特有に見られる思考障害である。
- 11) 中毒性精神病では、統合失調症に比較して、幻覚においては幻視が見られることが多い。

- 1 2) 電気痙攣療法はその変法まで含めて、現在効果に関して否定的であり、全く行われていない療法である。
- 1 3) うつ病で特徴的に見られる妄想は、微小妄想、貧困妄想、罪業妄想などである。
- 1 4) 連合弛緩は、躁病でよく見られる思考障害である。
- 1 5) 1950年代の精神科治療は、フロイトの影響もあり、精神分析的治療が盛んであったが、現在は生物学的精神医学の分野が急速に進歩している時代である。
- 1 6) うつ病では、過眠はきたさない。
- 1 7) 抗精神病薬投与中に、筋緊張更新、高熱、多量の発汗、振戦、CPKの上昇が見られた。その治療のため、抗精神病薬を増量した。
- 1 8) 悪性症候群に最もよく用いられる、治療剤は何か？
- 1 9) 炭酸リチウムは、躁病、感情障害に用いられ効果がある薬剤として知られているが、副作用として中毒症状の出現が報告されている。そのため血中濃度を測定しながら投与することが望ましいが、中毒症状で最も注意しなければならないのが、急性肝細胞壊死である。
- 2 0) 抗うつ剤の効果出現は、比較的早くどれも約2, 3日である。
- 2 1) うつ病の治療で用いられる3環系抗うつ薬の副作用は、抗コリン作用が問題となる。たとえば、口渇、唾液分泌減少、起立性低血圧、視力調節障害、尿閉等がある。
- 2 2) ICUシンドロームとは、治療に絶望し、離人症や恐怖症を起こすことである。
- 2 3) 慢性期の統合失調症においては、生活療法や社会復帰支援（レクリエーション療法、作業療法等）は、あまり効果がないため、それらを行うことや施設の設置はあまり意味がない。
- 2 4) 次のうち統合失調症に特徴的な症状はどれか？
 (1)妄想知覚 (2)作為体験 (3)情動失禁 (4)両価性 (5)常同言語
 (6)観念奔逸 (7)思考察知 (8)滞続言語 (9)思考途絶 (10)気分倒錯
- 2 5) 近年日本にも導入された、新しい抗精神病薬である、SDAやMART Aに属する薬剤は、古典的抗精神病薬のクロールプロマジンやハロペリドールと比較して、副作用が少ないのは明らかだが、効果が少ないためあまり用いられない。

解答

- 1) ○ 1) ~ 4) は「5/31 精神障害の症候学」プリント、ノート参照。 2) ○
- 3) ×: 錯覚は実際の刺激を誤って知覚すること、幻覚は実態なき知覚。
- 4) ×: 正常と異常の境界は明瞭でない。
- 5) ×: 軽度の意識障害と精神運動興奮を伴う。5) ~ 6) は「5/20 リエゾン精神医学」参照。
- 6) ○? 7) ×: 薬物療法は第一選択。7) ~ 10) は「5/28、6/2 統合失調症」参照。
- 8) ×: 支持的精神療法、家族療法は有効。ただし洞察的精神療法は原則適応なし。 9) ○
- 10) ○? (「特有の」といわれるとすこしひっかかりますが...)
- 11) ×: 覚醒剤中毒では幻聴が中心。(「統合失調症に比較して」といわれるとその通りかもしれませんが。)
- 12) ×: 薬剤の効果が不十分な統合失調症・うつ病に適応あり。 13) ○「6/4、14 気分障害」
- 14) ×: 統合失調症でよくみられる。「5/31 精神障害の症候学」、「5/28、6/2 統合失調症」
- 15) ○ 16) ×: 季節性うつ病では過眠と過食を呈する。「6/4、14 気分障害」
- 17) ×: 悪性症候群の可能性。抗精神病薬は中止する。17) ~ 21) は「6/3 精神障害の治療—薬物療法」参照。
- 18) ダントロレン（静注） 19) ×: 重要な副作用は意識障害、けいれん、錯乱、昏睡など。
- 20) ×: 2~3週間かかる。 21) ○
- 22) ×: 昼夜の区別もなく、対人的接触のない刺激の少ない環境でせん妄を起こす。「5/20 リエゾン精神医学」
- 23) ×: このような施設さえあれば精神科を退院できる患者が多い。「6/16 精神保健・法と精神医学」
- 24) (1)(2)(4)(7)(9) 「5/31 精神障害の症候学」、「5/28、6/2 統合失調症」
- 25) ×: 副作用が少なく陰性症状にも有効性が高いため、維持療法によく用いられる。「6/3 精神障害の治療—薬物療法」